



Annual Report Vol.11

Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

岐阜県現代陶芸美術館

年報 第11号

2020



目 次

002	ルート・ブリュック 蝶の軌跡
006	神業ニッポン 明治のやきもの 幻の横浜焼・東京焼展
010	大地のこどもたち 2020
012	アンドリュー・ワイエスと丸沼芸術の森コレクション展
016	コレクション展 北欧の陶芸／コレクション・ハイライト／ 「国際陶磁器フェスティバル美濃」グランプリ作品展
018	コレクション展 やきもののデザイン：アイデアのありか／ コレクション・ハイライト／ 新収蔵作品展－令和元年度収蔵品展－
019	収蔵作品点数 年度別一覧
020	収蔵作品貸出記録
021	2020 年度収蔵作品
021	2020 年度収蔵図書
022	入館者数一覧
023	教育・普及活動
029	収蔵庫整備
030	館の概要 組織及び構成 岐阜県現代陶芸美術館協議会委員 岐阜県現代陶芸美術館美術品等収集委員会委員 活動方針・活動内容
032	施設概要

ルート・ブリュック 蝶の軌跡

RUT BRYK : Touch of a Butterfly

会 期：2020年6月6日（土）～8月16日（日）

変更前 4月25日（日）～7月5日（日）

＊新型コロナウイルス感染症の影響により会期変更

観覧料：一般900円、大学生700円、高校生以下無料

主 催：岐阜県現代陶芸美術館

共 催：中日新聞社

後 援：フィンランド大使館、フィンランドセンター

協 力：有限会社スコープ

企画制作：エスポー近代美術館、タピオ・ヴィルカラ ルート・ブリュック財団、ブルーシーブ

会 場：ギャラリー I

■内容

フィンランドを代表する芸術家ルート・ブリュックは、名窯アラビアの専属アーティストとして長年にわたって活動し、20世紀半ばに世界を魅了した、北欧デザイン・工芸ブームの一翼を担いました。初期には、幼い頃の思い出や日常の様々な光景を陶板に表し、そのノスタルジックな描写や艶やかな釉表現が注目を集めます。次第に作品は幾何形体へと移行していき、モチーフも自然などのより広大なものへの変化します。後期には、タイルを集積させて大画面を構成するスタイルが確立し、それらは市役所や銀行など公共空間をも彩っていきます。

本展は陶器、テキスタイル、版画などおよそ200点の作品を通じて、ブリュックの創作の軌跡をたどる、日本で初めての回顧展です。工芸やデザインといったジャンルに縛られることなく、自由な発想と豊かな色彩感覚で独自の世界を生みだし続けたブリュックの、日々の暮らしに向ける温かな眼差しや、ダイナミックな作風の変遷を展覧しました。

■雑誌・新聞関連記事〈抜粋〉

【雑誌】

芸術新潮（新潮社）5月号
陶説（日本陶磁協会）5月号

展覧会紹介・内山さつき
展覧会紹介・成相肇

2019年 4月25日
2019年 5月 1日

【新聞】

中日新聞 朝刊／岐阜総合
朝日新聞 朝刊／岐阜
中日新聞 朝刊／岐阜総合
中日新聞 朝刊／岐阜総合
中日新聞 朝刊／岐阜総合
中日新聞 朝刊／東濃総合

展覧会情報・片岡典子
展覧会情報・戸村登
展覧会紹介・片岡典子
展覧会紹介・山口学芸員
展覧会紹介・山口学芸員
展覧会紹介・片岡典子

2020年 6月 4日
2020年 6月 6日
2020年 6月 7日
2020年 6月12日
2020年 6月13日
2020年 6月16日

【テレビ】

日曜美術館アートシーン（NHK・Eテレ）
おりべニュース（おりべネットワーク）

展覧会紹介
展覧会情報

2019年 5月26日
2020年 6月20日・21日（各日4回）

【その他】

展覧会公式ウェブサイト RUT BRYK <https://rutbryk.jp/>

■入場者数

9,723人

■関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：2020年5月17日（日）、6月7日（日）、6月28日（日） 各回14:00～15:00

＊新型コロナウイルス感染症の影響によりすべて中止

■印刷物

展覧会図録『ルート・ブリュック 蝶の軌跡』 300頁

編 集：成相肇（東京ステーションギャラリー）

岡本梓（伊丹市立美術館）

山口敦子（岐阜県現代陶芸美術館）



立花昭（岐阜県現代陶芸美術館）

今村玲子

新谷麻佐子、内山さつき（kukkameri）

協 力：エスポー近代美術館

タビオ・ヴィルカラ ルート・ブリュック財団

デザイン：吉田昌平、田中有美（白い立体）

印刷・製本：ライブアートブックス

発行人：草刈大介

発 行：ブルーシープ株式会社

■巡回会場

東京ステーションギャラリー 2019年4月27日～6月16日

伊丹市立美術館・伊丹市立工芸センター 2019年9月7日～10月20日

久留米市美術館 (中止)

新潟県立万代島美術館 2020年10月10日～12月6日

■出品リスト

* ◎はエスポー近代美術館に寄託された
タビオ・ヴィルカラ ルート・ブリュック財団所蔵

No.	作品名	制作年	技法・素材等	所蔵
I 夢と記憶 Dreams and Memories				
1-1	無題	1942 年	リノカット	◎
1-2	無題	1942 年	リノカット	◎
1-3	無題	1940 年代	リノカット	◎
1-4	無題	1930-1940 年代	リノカット	◎
1-5	無題	1938 年	リノカット	◎
1-6	ポストカードのスケッチ	1938 年	水彩	◎
1-7	ポストカードのスケッチ	1930-1940 年代	水彩	個人蔵
1-8	ポストカードのスケッチ	1942 年	水彩	◎
1-9	ポストカードのスケッチ	1942 年	水彩	個人蔵
1-10	無題	1940 年代	水彩	個人蔵
1-11	無題	1930-1940 年代	水彩	個人蔵
1-12	無題	1930-1940 年代	水彩	個人蔵
1-13	無題	1940 年頃	水彩、インク	個人蔵
1-14	無題	1941 年頃	水彩	個人蔵
1-15	無題	1930 年代後期	水彩	個人蔵
1-16	無題	1940 年頃	水彩	個人蔵
1-17	無題	1930-1940 年代	水彩	個人蔵
1-18	無題	1930-1940 年代	水彩	個人蔵
1-19/1-20	お菓子の包み紙のスケッチ	1940 年代初期	水彩、鉛筆、アクリル絵具	◎
1-21	雄鶏の皿	1940 年代初期	陶磁器	◎
1-22	無題	1942-1949 年	陶磁器	◎
1-23	無題	1942-1949 年	陶磁器	◎
1-24	無題	1942-1949 年	陶磁器	◎
1-25	無題	1943 年	陶磁器	◎
1-26	無題	1943 年	陶磁器	◎
1-27	無題	1942-1949 年	陶磁器	◎
1-28	庭の少女たち	1942-1945 年	陶磁器	◎
1-29	無題	1944 年	陶磁器	◎
1-30	無題	1942-1949 年	陶磁器	◎
1-31	無題	1942-1949 年	陶磁器	◎
1-32	無題	1942-1949 年	陶磁器	◎
1-33	無題	1942-1949 年	陶磁器	◎
1-34	ふたり	1944 年	陶磁器	◎
1-35	雄鶏	1944 年	陶磁器	◎
1-36	馬車	1940 年代	陶磁器	◎
1-37	茂みの少女	1943 年	陶磁器	◎
1-38	コーヒータム	1945 年	陶磁器	◎
1-39	鳥籠	1947 年	陶磁器	◎
1-40	散髪	1947 年頃	陶磁器	◎
1-41	静物	1947-1948 年	陶磁器	◎
1-42	結婚式	1944 年	陶磁器	◎
1-43	お葬式	1947 年頃	陶磁器	◎
1-44	東方の三博士	1944 年	陶磁器	◎
1-45	静物（矢車草とカリフラワー）	1948 年頃	陶磁器	◎
1-46	静物（スズランと梨）	1948 年頃	陶磁器	◎
1-47	静物	1947-1948 年頃	陶磁器	◎
1-48	ペリカンの皿	1950-1955 年	陶磁器	◎
1-49	三つ編みの少女（ルート）	1948 年	陶磁器	◎
1-50	三つ編みの少女（ルート）	1948 年	陶磁器	◎
1-51	三つ編みの少女（ルート）	1948 年	陶磁器	◎
1-52	ビルゲル	1949 年	陶磁器	◎
II 色彩の魔術 Colour Magic				
2-1	牛	1950 年	陶磁器	◎
2-2	ふたりの少女	1950 年	陶磁器	◎

2-3	水差しとレモン	1950 年	陶磁器	◎
2-4	梨籠	1950 年	陶磁器	◎
2-5	果物の皿	1950 年代初期	陶磁器	個人蔵
2-6	魚	1950 年	陶磁器	◎
2-7	ストーブ	1950 年	陶磁器	◎
2-8	魚の皿	1953-1954 年	陶磁器	◎
2-9	ボトル	1957 年	陶磁器	◎
2-10	イースターの鳥	1950 年	陶磁器	◎
2-11	鳥	1950 年	陶磁器	◎
2-12	草むらの鳥	1956 年	陶磁器	◎
2-13	鳥とりんご	1954 年	陶磁器	◎
2-14	鳥の群れ	1955 年頃	陶磁器	◎
2-15	鳥の群れ	1955 年頃	陶磁器	◎
2-16	鳥の群れ	1955 年頃	陶磁器	◎
2-17	鳥	1954 年	陶磁器	◎
2-18	ついでばむ鳥	1950 年代	陶磁器	◎
2-19	鳥	1955 年	陶磁器	◎
2-20	鳥	1950 年代	陶磁器	◎
2-21	鳥	1950 年代	陶磁器	◎
2-22	トウヒとフクロウ	1952 年	陶磁器	◎
2-23	木の上のザアカイ	1950 年	陶磁器	◎
2-24	最後の晚餐	1950-1951 年頃	陶磁器	◎
2-25	聖体祭	1953 年	陶磁器	◎
2-26	シチリアの教会	1952-1953 年	陶磁器	◎
2-27	シチリアの教会	1951 年	陶磁器	◎
2-28	カレリアの家	1952-1953 年	陶磁器	◎
2-29	カレリアの家	1952-1953 年	陶磁器	◎
2-30	カレリアの鐘楼 (アダムとイヴ)	1952 年頃	陶磁器	◎
2-31	カレリアの礼拝堂	1952-1954 年	陶磁器	◎
2-32	ヴェネチアの宮殿：リアルト橋	1953 年	陶磁器	◎
2-33	ヴェネチアの宮殿：柱廊	1953 年	陶磁器	◎
2-34	ヴェネチアの宮殿：ジョルノ	1953 年	陶磁器	◎
2-35	ヴェネチアの宮殿：鳥の扉	1953 年	陶磁器	◎
2-36	子羊の扉	1957 年	陶磁器	◎
2-37	ノアの方舟	1957 年	陶磁器	◎
2-38	母子	1950 年	陶磁器	◎
2-39	三つ編みの聖母	1950 年	陶磁器	◎
2-40	母子	1950 年代	陶磁器	◎
2-41	母子	1950 年代	陶磁器	◎
2-42	ピリッタ	1955 年	陶磁器	◎
2-43	ダンス	1957 年	陶磁器	◎
2-44	ダンス	1957 年	陶磁器	◎
2-45	キルト	1956 年	陶磁器	◎
2-46	肘掛け椅子	1957 年頃	陶磁器	◎
2-47	ライオンに化けたロバ	1957 年	陶磁器	◎
2-48	ライオンに化けたロバ	1957 年	陶磁器	◎
2-49	お葬式	1957-1958 年	陶磁器	◎

Ⅲ 空間へ Towards Spatiality

3-1	蝶の研究者	1950 年	陶磁器	個人蔵
3-2	蝶たち	1957 年	陶磁器	◎
3-3	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-4	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-5	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-6	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-7	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-8	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-9	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-10	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-11	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-12	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-13	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-14	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-15	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-16	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-17	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-18	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-19	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-20	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-21	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-22	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-23	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-24	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-25	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-26	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-27	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-28	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-29	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-30	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-31	蝶	1957 年	陶磁器	◎
3-32	レリーフ	1950 年代後期	陶磁器	◎
3-33	都市	1958 年	陶磁器	◎
3-34	“ アッシュ・トレイ ”	1960 年代初期	陶磁器	◎
3-35	“ アッシュ・トレイ ”	1960 年代初期	陶磁器	◎
3-36	“ アッシュ・トレイ ”	1960 年代初期	陶磁器	◎
3-37	“ アッシュ・トレイ ”	1960 年代初期	陶磁器	◎
3-38	“ アッシュ・トレイ ”	1960 年	陶磁器	◎

3-39	“アッシュ・トレイ”	1960 年	陶磁器	◎
3-40	“アッシュ・トレイ”	1960 年代初期	陶磁器	◎
3-41	“アッシュ・トレイ”	1960 年代初期	陶磁器	◎
3-42	“アッシュ・トレイ”	1960 年代初期	陶磁器	◎
3-43	“アッシュ・トレイ”	1960 年代初期	陶磁器	◎
3-44	“アッシュ・トレイ”	1960 年代初期	陶磁器	◎
3-45	“アッシュ・トレイ”	1960 年代初期	陶磁器	◎
3-46	“アッシュ・トレイ”	1960 年代初期	陶磁器	◎
3-47	ヘキサゴン	1950 年代後期	陶磁器	◎
3-48	ヘキサゴン	1950 年代後期	陶磁器	◎
3-49	宴のテーブル：薔薇の卵	1960 年	陶磁器	◎
3-50	宴のテーブル：薔薇の卵	1960 年	陶磁器	◎
3-51	宴のテーブル：薔薇の卵	1961 年	陶磁器	◎
3-52	宴のテーブル：ガチョウの皿	1960 年	陶磁器	◎
3-53	皿	1960 年代	陶磁器	◎
3-54	皿	1960 年代	陶磁器	◎
3-55	皿	1960 年代	陶磁器	◎
3-56	皿	1960 年代	陶磁器	◎
3-57	皿	1960 年代	陶磁器	◎
3-58	皿	1960 年代	陶磁器	◎
3-59	皿	1960 年代	陶磁器	◎
3-60	皿	1960 年代	陶磁器	◎
3-61	皿	1960 年代	陶磁器	◎
3-62	皿	1960 年代	陶磁器	◎
3-63	皿	1960 年代	陶磁器	◎
3-64	皿	1960 年代	陶磁器	◎
3-65	皿	1960 年代	陶磁器	◎
3-66	皿	1960 年代	陶磁器	◎
3-67	レリーフ（アダムとイヴ）	1960 年代初期	陶磁器	個人蔵
3-68	レリーフ（アイコン）	1960 年代	陶磁器	◎
3-69	レリーフ（アイコン）	1960 年代	陶磁器	◎
3-70	レリーフ（アイコン）	1960 年代	陶磁器	◎
3-71	黄金の深淵	1969 年	陶磁器	◎
3-72	ジャイブル	1967 年	陶磁器	◎

Ⅳ 偉業をなすのも小さな一歩から Sic Parvis Magna

4-1	赤い太陽	1967 年	陶磁器	◎
4-2	スイスタモ	1969 年	陶磁器	◎
4-3	ドバルダン	1972 年	陶磁器	個人蔵
4-4	無題	1970 年代	陶磁器	◎
4-5	レリーフ	1970 年代初期	陶磁器	◎
4-6	レリーフ	1970 年代	陶磁器	◎
4-7	レリーフ	1970 年代	陶磁器	◎
4-8	レリーフ	1970 年代	陶磁器	◎
4-9	忘れな草	1979 年	陶磁器	個人蔵
4-10	無題	1970 年代	陶磁器	◎
4-11	ソーホー	1968 年	陶磁器	◎
4-12	花束	1967 年	陶磁器	◎
4-13	青	1969 年	陶磁器	◎
4-14	2	1968 年	陶磁器	◎
4-15	泥炭地の湖	1978 年	陶磁器	◎
4-16	水辺の摩天楼	1983 年	陶磁器	◎
4-17	木	1978-1980 年	陶磁器	◎

Ⅴ 光のハーモニー Harmony of Light

5-1	無題	1960 年代	陶磁器	◎
5-2	色ついた太陽	1969 年	陶磁器	◎
5-3	ジャイブル	1960 年代	陶磁器	◎
5-4	鳥	1970 年	陶磁器	◎
5-5	霞	1980 年	陶磁器	Saastamoinen Foundation Collection / EMMA- Espoo Museum of Modern Art
5-6	春の雲	1981 年	陶磁器	◎
5-7	レリーフ	1980 年代	陶磁器	◎

資料 Materials and Reference Works

6-1	釉薬見本	1960 年代		◎
6-2	釉薬見本	1960 年代		◎
6-3	釉薬見本	1960 年代		◎
6-4	釉薬見本	1960 年代		◎
6-5	釉薬見本	1960 年代		◎
6-6	《蝶》(cat.nos.3-6, 3-12 ~ 17, 3-19) の型	1957 年		◎
6-7	テキスタイル《セイタ》	1960 年代後期		◎
6-8	テキスタイル《セイタ》	1960 年代後期		◎
6-9	テキスタイル《セイタ》	1960 年代後期		◎
6-10	糸の色見本	1960-1980 年代		◎
6-11	糸の色見本	1960-1980 年代		◎
6-12	壁紙《アポロ》	デザイン：1958 年		◎
6-13	壁紙《アポロ》	デザイン：1958 年		◎
7-1	《流氷》の模型	1980 年代後期		◎
7-2	《流氷》の素描	1980 年代後期		◎
7-3	《流氷》の素描	1980 年代後期		◎
7-4	《流氷》の素描	1980 年代後期		◎
7-5	《流氷》の素描	1987 年		◎
7-6	《流氷》の素描	1980 年代後期		◎
7-7	《流氷》の素描	1980 年代後期		◎

特別展示

マリーア・ヴィルカラ	心のモザイク	ールト・ブリュック、旅のかけら	2019 年	陶タイル、茶箱ほか	個人蔵
------------	--------	-----------------	--------	-----------	-----

神業ニッポン 明治のやきもの 幻の横浜焼・東京焼

Kamiwaza Nippon! Yokohama Ware and Tokyo Ware:
Meiji-era Japanese Ceramics which Cross the Sea

会 期：2020年9月5日（土）～11月3日（火・祝）
変更前 2020年7月18日（土）～9月6日（日）
＊新型コロナウイルス感染症の影響により会期変更
観覧料：一般900円、大学生700円、高校生以下無料
＊11月3日（火・祝）は無料開館日

主 催：岐阜県現代陶芸美術館
共 催：岐阜新聞社 岐阜放送
協 力：神奈川新聞社

会 場：ギャラリー I

■内容

明治時代が幕を開けると、諸外国から多くの人々が日本を訪れました。彼らは日本の美術工芸品に魅せられ、購入した作品を持ち帰りました。さらに日本の美術工芸品は、欧米で開催された万国博覧会で高く評価されるとともに、海外へ大量に輸出されました。その中で、華やかで精緻を極めたモチーフによって装飾された輸出陶磁器「横浜焼・東京焼」は「神業」ともいうべき超絶技巧を凝らした品々で、外国の人々の好みを反映して製作されました。しかし、国内に現存する作品が希少で、製作過程や実態に謎が多く、「幻の陶磁器」とよばれています。

本展では、国内随一のコレクター・田邊哲人氏が里帰りさせたコレクションから精選した作品と、日本に現存する優品を一堂におよそ150点紹介し、幻といわれるその全貌に迫りました。

■雑誌・新聞関連記事〈抜粋〉

【雑誌】

陶説（日本陶磁協会）9月号	展覧会紹介・田邊哲人、森谷美保	2019年 9月 1日
---------------	-----------------	-------------

【新聞】

岐阜新聞 朝刊／文化	展覧会紹介・守屋学芸員	2020年 8月 8日、8月12日
岐阜新聞 朝刊／文化	展覧会紹介・守屋学芸員	2020年 8月15日
岐阜新聞 朝刊／文化	展覧会紹介・守屋学芸員	2020年 8月19日
岐阜新聞 朝刊／文化	展覧会紹介・守屋学芸員	2020年 8月22日
JAPPI ニュースレター（日本陶磁器産業振興協会）No.256	展覧会紹介・守屋学芸員	2020年 9月 1日
岐阜新聞 朝刊／県内総合	展覧会紹介・箕浦由美子	2020年 9月 3日

■入場者数

3,500人

■関連事業

講演会「幻の横浜焼・東京焼—その魅力にせまる—」

講 師：荒川正明（学習院大学教授、本展監修者）

日 時：2020年9月13日（日）14:00～15:30

会 場：セラミックパーク MINO イベントホール

特別ギャラリートーク

日 時：2020年10月11日（日）14:00～15:00

講 師：森谷美保（美術史家、実践女子大学・学習院大学非常勤講師、本展企画アドバイザー）

学芸員によるギャラリートーク

日時：2020年10月25日（日）14:00～15:00

■印刷物

展覧会図録・一般書籍『神業ニッポン 明治のやきもの 幻の横浜焼・東京焼』208頁



企 画 神奈川新聞社
 監 修 荒川正明（学習院大学教授）
 構 成 森谷美保（美術史家、実践女子大学・学習院大学非常勤講師）
 寄 稿 田邊哲人（横浜焼・東京焼研究者）
 執 筆 荒川正明、森谷美保、仁尾一人（兵庫陶芸美術館学芸員）、飯田将吾（茨城県陶芸美術館学芸員）、立花昭（岐阜県博物館学芸員（岐阜県現代陶芸美術館学芸員～2018年度））、大槻倫子（滋賀県立陶芸の森学芸員）
 編集協力 中島小百合、望月友詔（神奈川新聞社）
 編 集 清水恭子（求龍堂）
 印刷・製本：株式会社東京印書館

論考集『神業ニッポン 明治のやきもの 幻の横浜焼・東京焼 論考集』 104頁

企 画 神奈川新聞社
 監 修 荒川正明（学習院大学教授）
 構 成 森谷美保（美術史家、実践女子大学・学習院大学非常勤講師）
 論考執筆 荒川正明、森谷美保、仁尾一人（兵庫陶芸美術館学芸員）、飯田将吾（茨城県陶芸美術館学芸員）、立花昭（岐阜県博物館学芸員（岐阜県現代陶芸美術館学芸員～2018年度））、神谷蘭（学習院大学大学院人文科学研究科美術史学専攻博士後期課程1年）、西野萌（学習院大学大学院人文科学研究科美術史学専攻博士前期課程2年）
 デザイン 山本敦志（MBworks）
 発 行 神奈川新聞社

■巡回会場

横浜高島屋ギャラリー 2019年9月25日～10月7日
 兵庫陶芸美術館 2019年10月12日～12月15日
 茨城県陶芸美術館 2020年5月12日～6月28日（会期変更前 4月18日～6月28日）
 滋賀県立陶芸の森 2021年3月20日～6月6日

■出品リスト

* ○は田邊哲人コレクション				
No.	作品名	作者名・販売店	制作年	所蔵
序章 ～横浜開港～ 「大日本」世界へ発信				
1	高浮彫牡丹二眠猫寛醒大香炉	宮川香山	明治時代前期	○（横浜美術館寄託）
2	色絵木菟文足付花瓶	井村彦次郎 絵付：瓢池園	1879(明治12)年	○
3	色絵菊花文耳付花瓶	田代屋		○
4	高浮彫雲龍花瓶	井上良斎		○
5	色絵烏瓜文耳付花瓶（対）	瓢池園		○
6	色絵龍宮乙姫文鉢	成瀬誠志		○
7	色絵楼閣山水文蓋物（対）	成瀬誠志		○
8	釉下彩烏柿図大瓶	加藤友太郎	明治時代（20世紀）	東京国立博物館
9	色絵天狗文花瓶	瀧川惣助 素地：初代川本樹吉		○
10	色絵鉄線蝶文花瓶（対）	滝藤萬次郎		○
11	色絵蘭文手付瓶	錦光山宗兵衛		○
12	色絵人物花鳥文大花瓶（対）	酢屋久平 絵付：山田久録		○
13	色絵花鳥文輪花長皿	帶山与兵衛		○
14	色絵花鳥文碗	藪明山		○
第Ⅰ章 ～万国博覧会デビュー～ 東京錦窯の誕生				
15	色絵花果実文皿	服部杏圃	1874(明治7)年	東京国立博物館
16	染付金彩秋草文碗・皿	素地：加藤繁十絵付：東京錦窯	1873(明治6)年頃	○
17	色絵新羅三郎文花瓶	東京錦窯 絵付：晴園	1874(明治7)年	○
18	色絵曲水の宴文花瓶	東京錦窯 絵付：小林南園	1873(明治6)年頃	○
19	色絵武者文耳付大花瓶	陶々舎		○
20	色絵武者文耳付花瓶	東京錦窯 絵付：松本芳延	1873(明治6)年頃	○
21	色絵人物文六角花瓶	松本芳延		○
22	鍾馗像	松本芳延		○
23	色絵花鳥文皿	瓢池園素地：山口幸太郎絵付：山本琴嶺		○
24	色絵茸採取文皿	素地：芳国社 絵付：瓢池園		○
25	色絵花鳥文陶板	瓢池園		○
26	色絵紅葉山水文耳付花瓶	素地：深海墨之助（年木庵喜三） 絵付：瓢池園	1876(明治9)年頃	○
27	色絵繪扇図皿	ゴットフリート・ワグネル（吾妻焼） 絵付：荒木探令	明治時代（19世紀）	東京国立博物館
28	釉下彩遊禽図皿	ゴットフリート・ワグネル（旭焼）	明治20年代	個人蔵
29	釉下彩雀文陶板	ゴットフリート・ワグネル（旭焼）		○
第Ⅱ章 ～宮川香山と井村彦次郎～ 横浜焼・横浜絵付のはじまり				
30	色絵羅漢文耳付花瓶	宮川香山		○

31	色絵秋草文耳付花瓶	宮川香山		○
32	色絵武帝・西王母文耳付花瓶（対）	宮川香山		○
33	色絵亀文花瓶	宮川香山		○
34	色絵翡翠河骨文花瓶	宮川香山		○
35	色絵御簾梅鶯文花瓶	宮川香山		○
36	高浮彫猫釣花入花瓶	宮川香山		○
37	色絵扇面散文碗・皿	宮川香山		○
38	色絵山水文碗・皿	宮川香山		○
39	高浮彫桜二群鳩大花瓶（対）	宮川香山	明治時代前期	○（神奈川県立歴史博物館寄託）
40	高浮彫群禽花瓶	宮川香山		○
41	高浮彫桜鷺足付大花瓶	宮川香山		○
42	高浮彫四窓遊蛙獅子鈕蓋付壺（対）	宮川香山	明治時代前期	○（神奈川県立歴史博物館寄託）
43	高浮彫長命苣採取大花瓶	宮川香山	明治時代前期	○（神奈川県立歴史博物館寄託）
44	高浮彫菊花蓋付壺	宮川香山		○
45	高浮彫遊蛙足付花瓶	宮川香山		○
46	高浮彫鴨遊泳ランプ台	宮川香山	明治時代前期	○（神奈川県立歴史博物館寄託）
47	高浮彫枯蓮鴨皿	宮川香山		○
48	釉下彩紫陽花図花瓶	宮川香山	1897(明治30)年	○（神奈川県立歴史博物館寄託）
49	釉下彩白盛鶏図大花瓶	宮川香山	明治時代中期～後期	○（神奈川県立歴史博物館寄託）
50	窯変釉獅子耳付花瓶	宮川香山		○
51	青磁船形花入	宮川香山		○
52	釉裏紅群鯉文水注	宮川香山		○
53	釉下彩白蓮文花瓶	宮川香山		○
54	高取釉高浮彫蟹花瓶	宮川香山	1916(大正5)年	○（神奈川県立歴史博物館寄託）
55	色絵花鳥文瓢形耳付花瓶	井村彦次郎素地：初代川本樹吉		○
56	色絵花鳥文花瓶（対）	井村彦次郎絵付：山本祥雲		○
57	色絵花鳥文蓋付壺（対）	井村彦次郎		○
58	色絵花鳥図屏風文花瓶（対）	井村彦次郎		○
59	色絵飛雁文花瓶（対）	井村彦次郎 絵付：南畝、柳盛		○
60	青磁色絵文房飾文耳付花瓶（対）	井村彦次郎		○
61	色絵扇面散文耳付大花瓶	井村彦次郎素地：帯山と兵衛		○
62	色絵竹雀文花瓶	井村彦次郎		○
63	色絵花鳥文蓋付壺	井村彦次郎		○
64	色絵花鳥文耳付花瓶（対）	井村彦次郎		○
65	色絵遊亀文耳付花瓶（対）	井村彦次郎素地：加藤繁十		○
66	色絵花鳥文瓢形花瓶（対）	井村彦次郎		○
67	色絵群鶴文花瓶（対）	井村彦次郎絵付：伊奈月仙		○
68	色絵花鳥文花瓶	井村彦次郎		○
69	色絵鳳凰文輪花台鉢	井村彦次郎		○
70	色絵菊花文楕円大皿	井村彦次郎		○
71	色絵菊花文碗・皿	井村彦次郎		○
72	色絵群鶴文長皿	井村彦次郎素地：加藤善治		○
73	色絵花鳥文輪花台鉢	井村彦次郎		○
74	色絵栗鶉文皿	井村彦次郎		○
75	色絵琴棋書画文変形皿	井村彦次郎		○
76	色絵団扇文台鉢（対）	井村彦次郎		○
77	色絵花鳥文蓋付ソース入	井村彦次郎絵付：高山一三		○
78	色絵人物文碗・皿、鉢	井村彦次郎		○
79	色絵山水人物文陶板	井村彦次郎		○
80	色絵花鳥文足付鉢	井村彦次郎		○
第Ⅲ章 ～輸出陶磁器の隆盛～ 東京焼・東京絵付の精華				
81	色絵人物文足付香炉	成瀬誠志		○
82	色絵人物風景文蓋付小壺	成瀬誠志		○
83	色絵遊猿文皿	成瀬誠志		○
84	色絵人物花鳥文花瓶	瀧川惣助 絵付：曾我徳丸		○
85	色絵葡萄鳥文耳付花瓶（対）	瀧川惣助 絵付：酒井有山		○
86	色絵人物花鳥文花瓶	瀧川惣助		○
87	色絵陶磁器文花瓶	井上良斎		○
88	色絵遊蛙文花瓶	井上良斎		○
89	釉下彩紫陽花文花瓶	二代井上良斎		○
90	釉下彩鯉文花瓶	二代井上良斎		○
91	色絵花鳥文蓋付壺	二代井上良斎		○
92	高浮彫雲龍瓢形大花瓶	原娒山		○
93	相撲人形	石黒香香		○
94	高浮彫蟹耳付壺	石黒香香		○
95	釉下彩猫に蠅螂図花瓶	加藤友太郎	明治時代後期	岐阜県現代陶芸美術館
96	釉下彩菖蒲鯉図花瓶	加藤友太郎	明治時代後期	岐阜県現代陶芸美術館
97	釉下彩鯉文洗面器	加藤友太郎		○
98	釉下彩鯉文水差	加藤友太郎		○
99	色絵秋草文花瓶（対）	アーレンス社 素地：加藤三平		○
100	色絵雀文竹形花瓶（対）	アーレンス社		○
101	染付牡丹唐草文水盤	アーレンス社		○
102	色絵葡萄文燭台（対）	素地：丹山陸郎 絵付：小花萬右衛門（一案）		○
103	色絵花鳥文大花瓶（対）	新村留蔵		○
104	色絵人物文花瓶（対）	柳橋秀悦		○
105	色絵人物文耳付花瓶	柳橋秀悦		○
106	色絵人物文花瓶	田中		○
107	色絵牡丹文花瓶	ディーキン商会 絵付：田中	1885(明治18)年	○
108	色絵枯蓮水禽文鉢	絵付：雲晃		○
109	色絵金彩獅子牡丹文皿	森村組 絵付：藤村興兵衛	1884－90(明治17－23)年	株式会社ノリタケカンパニーリミテド
110	瑠璃金盛唐草文皿	森村組 絵付：杉村作太郎	1884－90(明治17－23)年	株式会社ノリタケカンパニーリミテド
111	色絵花鳥文皿	森村組 絵付：井口昇山	1884－90(明治17－23)年	株式会社ノリタケカンパニーリミテド
112	色絵花鳥文花瓶（対）	錦龍軒 絵付：壽々喜鶏斎		○

第Ⅳ章 ～驚異の横浜絵付～ 陶磁器商、陶磁画工の台頭

113	色絵花鳥文花瓶	田代屋		○
114	色絵旭日鶴文皿	田代屋		○
115	色絵花蝶文花瓶	田代屋		○
116	色絵煎茶具文花瓶	開洋社 絵付：對翠樓雅友		○
117	色絵花鳥文大花瓶	滝藤萬次郎 絵付：大塚如真		○
118	色絵花鳥文瓢形瓶	綿野吉二		○
119	色絵花鳥文花瓶	綿野吉二 絵付：北招		○
120	色絵蝶文碗・皿	綿野吉二		○
121	色絵花散文輪花碗・皿	綿谷平兵衛		○
122	色絵花鳥文碗・皿	日光商店		○
123	色絵酢漿草文皿	鎮導真達 素地：京都陶器会社		○
124	色絵菊花文輪花碗・皿	鎮導真達		○
125	色絵人物文花瓶	保土田太吉素地：沈壽官絵付：芳舟		○
126	色絵人物文花瓶	保土田太吉		○
127	色絵龍鳳凰文手付瓶	保土田太吉素地：沈壽官絵付：旭玉堂		○
128	染付波千鳥文輪花皿	トーマス・B・ブロー	1906(明治 39) 年	○
129	色絵人物文鉢	トーマス・B・ブロー		○
130	色絵人物文茶器セット (ポット、砂糖壺、ミルク入れ、小皿、中皿、鉢、碗・皿)	クーン & コモル商会		○
131	色絵金彩風景図長皿	山下民松 素地：アビランド社	明治時代前期	個人蔵
132	色絵蝶山水文輪花皿	山下民松		○
133	色絵人物文陶板	山下民松		○
134	色絵山水文皿	山下民松		○
135	色絵羅漢文碗・皿	北川喜作		○
136	色絵蝶文輪花碗・皿	北川喜作		○
137	色絵秋草文茶器セット (ポット、砂糖壺、ミルク入れ、小皿、碗・皿)	川戸房次郎		○
138	色絵花鳥文碗・皿	中村鎗次郎		○
139	色絵花鳥文碗・皿	塩谷加太郎		○
140	色絵花鳥文隅切皿	上木堂 素地：山半		○
141	色絵魚貝文茶器セット(ポット、碗・皿)	高坂藤右衛門		○
142	色絵金魚文碗	高坂藤右衛門		○
143	色絵忠臣蔵文茶器セット (ポット、砂糖壺、ミルク入れ、小皿、中皿、碗・皿)	島田金次郎		○
144	色絵雄子文茶器セット (盆、ポット、砂糖壺、ミルク入れ、碗・皿)	三栄舎		○
145	高浮彫花卉花瓶	河田		○

大地のこどもたち 2020

Children's Works in Ceramics 2020

会 期：2020年10月3日（土）～11月3日（火・祝）
変更前 2020年7月31日（土）～8月23日（日）
＊新型コロナウイルス感染症の影響により会期変更
観覧料：無料



主 催：岐阜県現代陶芸美術館、大地のこどもたち2020展開催委員会
後 援：岐阜県教育委員会、多治見市教育委員会、土岐市教育委員会、瑞浪市教育委員会、恵那市教育委員会、中津川市教育委員会
協 賛：国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会
助 成：公益財団法人 田口福寿会

会 場：ギャラリーⅡ

■内容

「大地のこどもたち」は、「子どもたちの作品を美術館に展示したい!」という願いを掲げて2005年から3年ごとに開催してきた展覧会で、今回6回目の開催となりました。

展覧会テーマを「わたしたちのエネルギー」として、学校の教育活動や当館企画の造形ワークショップの中で制作されたやきもの作品を展示しました。岐阜県内の小・中・特別支援学校に呼びかけ、趣旨に賛同していただいた学校の児童・生徒の皆さん約871名による作品が寄せられました。

全作品数：826点（871名参加）

個人作品：819点（819名参加）

共同作品：7点（52名参加）

参 加 校：51校（岐阜県内） 特別参加校：1校（奈良教育大学附属中学校19名）

■雑誌・新聞関連記事〈抜粋〉

【雑誌】

陶説（日本陶磁協会）6月号	展覧会情報	2020年 6月 1日
---------------	-------	-------------

【新聞】

中日新聞 朝刊（広域岐阜）	展覧会情報・片岡典子	2020年10月 4日
岐阜新聞 朝刊（東濃地域）	展覧会情報・箕浦由美子	2020年10月16日
朝日新聞 朝刊（岐阜）	展覧会情報	2020年10月28日

【ラジオ】

FMPiPi（エフエムたじみ）	展覧会情報・林学芸員	2020年10月16日
-----------------	------------	-------------

■入場者数

3,534人

■関連事業

記念講演会「陶芸 × 教育」の可能性

講 師：原山健一（陶芸家、奈良教育大学准教授）

日 時：2020年10月3日（土）11:00～12:30

会 場：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

助 成：公益財団法人 田口福寿会

造形講座「Clay Session 一つながるやきもの」

講 師：原山健一（陶芸家、奈良教育大学准教授）

日 時：2020年10月10日（土）13:30～15:30

会 場：セラミックパーク MINO 作陶館

助 成：公益財団法人 田口福寿会

■印刷物

リーフレット「大地のこどもたち2020」（出品者一覧）

判 型：A4

印 刷：有限会社大六印刷

■出品校及び出品数（エントリー順）

No.	学校名	全校人数	参加人数
1	県立岐阜盲学校	40	2
2	県立岐阜希望が丘特別支援学校	69	10
3	県立関特別支援学校	50	4
4	県立中濃特別支援学校	202	15
5	県立飛騨特別支援学校高山日赤分校	13	12
6	県立可茂特別支援学校	264	1
7	県立東濃特別支援学校	210	57
8	県立岐阜本巣特別支援学校	223	16
9	各務原市立緑苑小学校	153	1
10	御嵩町立御嵩小学校	532	9
11	多治見市立養正小学校	374	6
12	多治見市立精華小学校	775	13
13	多治見市立共栄小学校	342	9
14	多治見市立小泉小学校	690	24
15	多治見市立池田小学校	331	30
16	多治見市立市之倉小学校	206	26
17	多治見市立根本小学校	518	4
18	多治見市立脇之島小学校	199	8
19	瑞浪市立瑞浪小学校	740	24
20	瑞浪市立土岐小学校	341	32
21	瑞浪市立稲津小学校	205	31
22	瑞浪市立明世小学校	175	44
23	瑞浪市立釜戸小学校	102	12
24	瑞浪市立日吉小学校	72	39
25	土岐市立下石小学校	358	20
26	土岐市立妻木小学校	254	18
27	土岐市立濃南小学校	68	26
28	土岐市立駄知小学校	298	9
29	土岐市立泉小学校	656	4
30	土岐市立泉西小学校	257	23
31	多治見市立笠原小学校	347	6
32	恵那市立中野方小学校	74	13
33	恵那市立恵那北小学校	61	8
34	恵那市立飯地小学校	22	22
35	恵那市立大井小学校	318	10
36	恵那市立東野小学校	86	6
37	恵那市立三郷小学校	120	12
38	恵那市立山岡小学校	149	6
39	恵那市立明智小学校	220	25
40	恵那市立上矢作小学校	69	12
41	関市立板取川中学校	54	1
42	多治見市立陶都中学校	546	12
43	多治見市立多治見中学校	461	30
44	多治見市立小泉中学校	432	50
45	多治見市立北陵中学校	437	13
46	土岐市立西陵中学校	366	6
47	土岐市立濃南中学校	31	6
48	多治見市立笠原中学校	163	10
49	中津川市立第二中学校	422	15
50	中津川市立苗木中学校	155	8
51	恵那市立恵那西中学校	390	18
52	奈良教育大学附属中学校	—	20



アンドリュー・ワイエスと丸沼芸術の森コレクション展

The Collection of Marunuma Art Park

会 期：2021年1月5日（火）～3月14日（日）

変更前 2020年9月17日（木）～11月15日（日）

＊新型コロナウイルス感染症の影響により会期変更

観覧料：一般1,000円（900円）、大学生800円（700円）、高校生以下無料

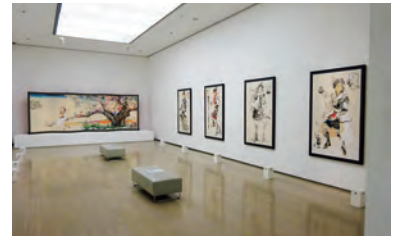
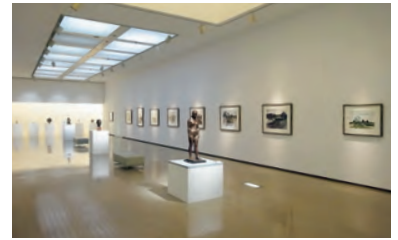
主 催：岐阜県現代陶芸美術館、中日新聞社

特別協力：丸沼芸術の森

協 力：JR 東海

協 賛：加藤智子氏

会 場：ギャラリー I・II



■内容

埼玉県朝霞市で若手芸術家たちの制作支援を行っている「丸沼芸術の森」は、その優れたコレクションでも広く国内外に知られています。

本展では「丸沼芸術の森」コレクションより、若手作家たちの創作の養分とするべく収集されたアンドリュー・ワイエスの水彩素描を中心とする絵画コレクション、設立者の芸術志向のきっかけとなった陶芸コレクションの中心を成す、加藤孝造をはじめとする現代の陶芸作品、芸術の森で制作活動の支援を受けた村上隆や入江明日香ら気鋭の作家たちの現代美術を一堂に展示しました。これらの多彩なコレクションが、アーティストを支え、アートによって社会を豊かにしようと活動を続ける「丸沼芸術の森」の芸術に対する純粋な情熱を伝えることを期待し、紹介しました。

■雑誌・新聞関連記事（抜粋）

【新聞】

中日新聞 朝刊（広域岐阜・岐阜県版）	関連催事記事・脇阪憲	2021年 1月10日
中日新聞 朝刊（岐阜総合・岐阜県版）	作品解説・高橋館長	2021年 1月12日
中日新聞 朝刊（岐阜総合・岐阜県版）	作品解説・高橋館長	2021年 1月13日
中日新聞 朝刊（岐阜総合・岐阜県版）	作品解説・花井学芸員	2021年 1月14日
中日新聞 朝刊（岐阜総合・岐阜県版）	作品解説・高橋館長	2021年 1月18日
中日新聞 朝刊（愛知総合・愛知県版）	作品解説・高橋館長	2021年 1月19日
中日新聞 朝刊（愛知総合・愛知県版）	作品解説・花井学芸員	2021年 1月20日
中日新聞 朝刊（岐阜総合・岐阜県版）	作品解説・高橋館長	2021年 1月21日
中日新聞 朝刊（カルチャー面）	展覧会記事・谷口大河	2021年 1月22日
中日新聞 朝刊（広域岐阜）	関連催事記事・脇阪憲	2021年 2月28日
中日新聞 朝刊（岐阜総合）中日新聞社	関連催事記事・脇阪憲	2021年 3月 8日

【web】

中日新聞 HP、中日プラス	展覧会紹介	2020年 4月～
---------------	-------	-----------

【テレビ】

週刊おりべニュース（おりべネットワーク）	展覧会紹介・高橋館長	2021年 1月 6日、9日、10日
----------------------	------------	--------------------

【ラジオ】

FM PiPi（FM Tajimi）	展覧会紹介・高橋館長	2021年 2月26日
--------------------	------------	-------------

■入場者数

6,163人

■関連事業

講演会：「丸沼芸術の森のあゆみー須崎代表に聞く」

講 師：須崎勝茂（丸沼芸術の森代表）

聞き手：高橋秀治（当館館長）

日 時：2月27日（土）14:00～15:30（変更前 2021年1月13日（土）14:00～15:30）

会 場：セラミックパーク MINO イベントホール

実技講座：「入江明日香の色彩銅版画にチャレンジ」

講 師：入江明日香（出品作家・銅版画家）

日 時：2021年2月13日（土）13:00～16:00

会 場：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

*新型コロナウイルス感染症の影響により中止

連続講座「もっと知りたいワイエスの魅力」

日 時：2021年1月9日（土）「Ⅰ：ワイエスのふたつの世界—ペンシルヴェニアとメイン」

2021年1月16日（土）「Ⅱ：ワイエスとオルソン家」

各回14:00～15:30

講 師：高橋秀治（当館館長）

会 場：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

学芸員による鑑賞ガイダンス

日 時：2021年1月10日（日）、24日（日）、2月7日（日）、28日（日）、3月7日（日）各回11:00～11:15

会 場：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

清流の国ぎふ ミュージアムコンサート #3「野々田万照 JAZZ×MoMCA」

演奏者：野々田万照（サクソ奏者）ほか

日 時：2021年3月7日（日）14:00～15:00

会 場：セラミックパーク MINO 国際会議場

■印刷物

展覧会図録『アンドリュー・ワイエスと丸沼芸術の森コレクション展』96頁

執 筆：高橋秀治、花井素子、守屋靖裕（岐阜県現代陶芸美術館）

編 集：岐阜県現代陶芸美術館

ブックデザイン：中村直永

印刷・製本：株式会社ダイキユー

発 行：アンドリュー・ワイエスと丸沼芸術の森コレクション展実行委員会
（岐阜県現代陶芸美術館、中日新聞社）



■出品リスト

*○は作家蔵

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (h×w×dまたは縦×横, cm)	技法、材質等
第一部 丸沼芸術の森のコレクション 【ギャラリーⅠ】					
1	ベン・シャーン	ほんとうに偉大な人たちは私は忘れない	1965 年	65.4 × 50.7	水彩・セリグラフ、紙
2	アンドリュー・ワイエス	三狩人	1938 年	56.0 × 75.3	水彩、紙
3	アンドリュー・ワイエス	オルソンの家	1939 年	38.0 × 53.5	水彩、紙
4	アンドリュー・ワイエス	入江から見たオルソンの家	1940 年	55.0 × 75.4	水彩、紙
5	アンドリュー・ワイエス	オルソンの家の秋	1941 年	55.0 × 75.4	水彩、紙
6	アンドリュー・ワイエス	ブルーベリーをかき集めるアルヴァロたち	1942 年	54.6 × 75.6	水彩、紙
7	アンドリュー・ワイエス	《オイルランプ》習作	1945 年	56.0 × 37.7	鉛筆、紙
8	アンドリュー・ワイエス	干し草をかき集めるアルヴァロ	1947 年	55.1 × 75.6	水彩、紙
9	アンドリュー・ワイエス	《クリスティーナの世界》習作	1948 年	35.4 × 50.5	鉛筆、紙
10	アンドリュー・ワイエス	《クリスティーナの世界》習作	1948 年	37.9 × 54.4	水彩、紙
11	アンドリュー・ワイエス	《クリスティーナの世界》習作	1948 年	41.7 × 55.5	鉛筆、紙
12	アンドリュー・ワイエス	ブルーベリーをかき集めるアルヴァロ	1948 年	54.4 × 74.5	水彩、紙
13	アンドリュー・ワイエス	《幽霊》習作	1949 年	55.7 × 76.3	水彩、紙
14	アンドリュー・ワイエス	カモメの案山子	1954 年	72.7 × 56.6	水彩、紙
15	アンドリュー・ワイエス	オルソン家の納屋の内部	1957 年	56.6 × 72.5	水彩、紙
16	アンドリュー・ワイエス	じゃがいも袋	1958 年	27.9 × 35.6	鉛筆、紙
17	アンドリュー・ワイエス	《青い計量器》習作	1959 年	38.6 × 57.7	水彩、紙
18	アンドリュー・ワイエス	青い計量器	1959 年	58.2 × 39.0	水彩、ドライブラッシュ、紙
19	アンドリュー・ワイエス	卵の計量器	1959 年	39.3 × 49.1	水彩、ドライブラッシュ、紙
20	アンドリュー・ワイエス	穀物袋	1961 年	57.4 × 36.4	水彩、紙
21	アンドリュー・ワイエス	オルソンの家	1964 年	28.1 × 35.4	鉛筆、紙
22	アンドリュー・ワイエス	雨どい（《さらされた場所》習作）	1965 年	27.9 × 35.4	水彩、ドライブラッシュ、紙
23	アンドリュー・ワイエス	納屋のツバメ（《さらされた場所》習作）	1965 年	73.7 × 56.0	水彩、紙
24	アンドリュー・ワイエス	《さらされた場所》習作	1965 年	71.1 × 48.4	水彩、鉛筆、紙
25	アンドリュー・ワイエス	オルソンの家	1966 年	71.0 × 48.4	水彩、紙
26	アンドリュー・ワイエス	オルソン家の納屋の干し草置き場	1966 年	71.1 × 48.3	水彩、紙
27	アンドリュー・ワイエス	《アンナ・クリスティーナ》習作	1967 年	76.0 × 55.0	水彩、紙
28	アンドリュー・ワイエス	霧の中のオルソンの家	1967 年	55.6 × 76.4	水彩、紙
29	アンドリュー・ワイエス	《パイ用のブルーベリー》習作	1967 年	55.9 × 35.6	水彩、紙
30	アンドリュー・ワイエス	オルソン家の朝食	1967 年	61.0 × 41.8	水彩、紙
31	アンドリュー・ワイエス	物置のドアの前の桶	1968 年	75.9 × 55.5	水彩、紙
32	アンドリュー・ワイエス	クリスティーナの墓	1968 年	35.6 × 43.1	鉛筆、紙
33	アンドリュー・ワイエス	オルソンの家	1969 年	54.6 × 75.4	水彩、紙
34	アンドリュー・ワイエス	《オルソン家の終焉》習作	1969 年	62.0 × 37.3	テンペラ、ボード
35	アンドリュー・ワイエス	《オルソン家の終焉》習作	1969 年	55.5 × 76.0	水彩、紙

36	辻晋堂	濃紺形象	1977 年	50.0 × 28.0 × 11.0	陶、彩色
37	柳原義達	バルザックのモデルたりし男	1957 年	43.0 × 23.0 × 29.0	ブロンズ
38	佐藤忠良	群馬の人	1952 年	29.5 × 19.5 × 24.5	ブロンズ
39	佐藤忠良	はだか	1954 年	98.0 × 24.0 × 27.0	ブロンズ
40	佐藤忠良	おくるみ	1971 年	4.3 × 15.5 × 5.5	ブロンズ
41	佐藤忠良	帽子 2003	2003 年	35.0 × 32.0 × 36.0	ブロンズ
42	舟越保武	少女	1960 年頃	35.0 × 23.0 × 23.0	白大理石
43	濱田庄司	柿釉鐵砂組重		16.4 × 15.1 × 8.6	陶器
44	荒川豊蔵	志野茶盃		8.6 × 13.3 × 13.3	陶器
45	荒川豊蔵	志野茶盃		9.5 × 13.9 × 13.8	陶器
46	二代川瀬竹春	染付釉裏紅瑞果文水指	1981 年頃	18.2 × 15.6 × 15.7	磁器
47	加藤唐九郎	絵志野茶碗	1984 年頃	8.1 × 12.3 × 12.5	陶器
48	山本陶秀	備前窯変耳付花入	1985 年頃	23.3 × 12.4 × 12.4	陶器
49	十一代三輪休雪	鬼萩茶碗 銘「日輪」		11.0 × 16.15 × 14.0	陶器
50	十一代三輪休雪	鬼萩茶碗 銘「曙」		10.5 × 12.8 × 13.2	陶器
51	塚本快示	白瓷唐草彫碗		7.0 × 15.0 × 15.0	磁器
52	加藤卓男	青釉胡姬文手付花入	1992 ～ 94 年頃	29.7 × 14.0 × 14.0	陶器
53	田村耕一	葡萄陶板	1983 年	3.0 × 37.5	陶器
54	岡部嶺男	窯変米色瓷盃	1970 年代	6.3 × 14.8	陶器
55	藤本能道	美男桂 耐鹼図 隅切り大筥	1983 年	6.0 × 31.8 × 31.8	磁器
56	藤本能道	金銀彩尾長図扁壺	1993 年	31.0 × 30.0 × 20.0	磁器
57	島岡達三	地釉象嵌縄文壺	1980 ～ 90 年代	30.2 × 16.0 × 15.9	陶器
58	十三代今泉今右衛門	色絵薄墨草花文花瓶	1991 年	31.3 × 26.5 × 26.5	磁器
59	清水卯一	鉄耀扁壺		33.8 × 33.4 × 30.8	陶器
60	松井康成	晴白練上香爐	1989 年	13.3 × 13.5 × 13.6	陶器
61	辻清明	信楽陶缶	1981 ～ 82 年	18.5 × 10.5 × 10.9	陶器
62	井上萬二	白磁彫文蓋物	2000 年頃	11.8 × 27.7 × 27.6	磁器
63	藤原雄	備前大徳利	1985 年頃	32.4 × 18.5 × 18.5	陶器
64	加守田章二	壺	1978 年	8.7 × 23.9 × 13.7	陶器
65	加守田章二	壺	1979 年	30.1 × 19.0 × 16.7	陶器
66	三浦小平二	青磁らくだ飾り壺	1985 年頃	26.6 × 28.9 × 26.3	磁器
67	若尾利貞	鼠志野茶碗		9.3 × 13.0 × 14.1	陶器
68	鈴木藏	志埜茶盃		10.3 × 13.95 × 14.1	陶器
69	鈴木藏	志埜茶盃		10.7 × 14.6 × 13.55	陶器
70	鈴木藏	志埜茶盃		9.7 × 12.5 × 12.5	陶器
71	鈴木藏	志埜茶盃	1991 年	10.5 × 14.3 × 13.9	陶器
72	十四代酒井田柿右衛門	濁手菊文花瓶	1994 ～ 95 年頃	34.8 × 18.5 × 18.5	磁器
73	加藤孝造	鉄釉壺	1968 年	32.0 × 40.0 × 40.5	陶器
74	加藤孝造	志野茶盃	1971 年	10.1 × 12.7 × 12.7	陶器
75	加藤孝造	志野扁壺	1990 年頃	31.11 × 29.6 × 25.0	陶器
76	加藤孝造	志野茶盃	1990 年頃	9.6 × 13.6 × 13.3	陶器
77	加藤孝造	鼠志野茶盃	1992 年頃	9.6 × 12.5 × 12.3	陶器
78	加藤孝造	黄瀬戸茶盃	1992 年頃	9.4 × 12.6 × 12.6	陶器
79	加藤孝造	志野水指	1992 年	19.2 × 21.3 × 19.7	陶器
80	加藤孝造	黄瀬戸扁壺	1992 年頃	35.2 × 35.7 × 34.6	陶器
81	加藤孝造	灰釉花入	1992 年頃	21.4 × 11.2 × 10.8	陶器
82	加藤孝造	志野茶盃	1996 年頃	9.7 × 13.5 × 13.5	陶器
83	加藤孝造	志野茶盃	1996 年頃	9.5 × 12.0 × 12.0	陶器
84	加藤孝造	瀬戸黒茶盃	2002 年	10.8 × 12.4	陶器
85	加藤孝造	志野輪花鉢	2011 年	22 × 33.6 × 36.0	陶器
86	加藤孝造	瀬戸黒茶盃	2011 年	10.1 × 12.8 × 12.8	陶器
87	加藤孝造	瀬戸黒茶盃	2013 年	9.2 × 11.9 × 12.5	陶器
88	鈴木三成	米色瓷琺瑯水指	2001 年	15.5 × 16.0 × 16.0	陶器
89	鈴木三成	米色瓷茶盃		12.8 × 14.8 × 14.8	陶器
90	鈴木三成	青瓷壺	2006 年	31.0 × 36.0 × 36.0	陶器
91	鈴木三成	青瓷柑子口鉄斑文花生	2008 年	27.0 × 15.5 × 15.5	陶器
92	原清	鉄釉馬文大壺		38.5 × 34.2 × 34.2	陶器
93	原清	翠磁之水指		17.2 × 21.1 × 21.0	陶器
94	神山清子	信楽自然釉窯変耳付花入		24.2 × 13.2 × 12.4	陶器
95	安藤日出武	黄瀬戸茶碗	2020 年	9.6 × 12.2 × 12.0	陶器
96	伊藤東彦	布目笹文花瓶		27.6 × 51.5 × 18.7	陶器
97	加藤伸也	灰釉条紋花器	1991 年	43.5 × 43.5 × 43.7	陶器
98	五代伊藤赤水	無名異練上壺		33.5 × 38.4 × 37.9	陶器
99	玉置保夫	赤志野茶盃	1980 年	8.9 × 13.8 × 13.2	陶器
100	竹中浩	白磁稜線瓶		27.2 × 16.6 × 16.6	磁器
101	中島宏	青瓷彫文壺	2000 年頃	30.7 × 36.0 × 36.1	陶器
102	林正太郎	鼠志野茶碗	2003 年頃	9.6 × 14.6 × 14.9	陶器
103	前田正博	色絵金銀彩輪花鉢	1992 年頃	15.5 × 34.9 × 36.3	磁器
104	竹内公明	焼々壺	1991 年頃	25.0 × 19.0 × 19.0	陶器
105	島田文雄	彩磁アヤマ文壺	1990 年頃	28.4 × 32.6 × 32.6	磁器
106	十五代樂吉左衛門	黒茶盃 銘 慶重	1980 年代前半	8.8 × 12.4 × 12.3	陶器
107	十五代樂吉左衛門	赤茶盃 銘 寿星	1980 年代前半	9.2 × 12.4 × 12	陶器
108	佐伯守美	練上象嵌樹林文扁壺	1993 年	59.2 × 27.8 × 14.2	陶器
109	川瀬忍	青磁花入	1988 年頃	29.2 × 23.1 × 18.9	磁器
110	美崎光邦	彩泥鉢	1993 年	35.0 × 58.0	陶器
111	川瀬竹志	白磁百合口花生	1994 年頃	30.2 × 19.2 × 19.2	磁器
112	堀俊郎	鉄釉花器	1994 年	39.5 × 41.2 × 41.2	陶器
113	堀俊郎	志野茶盃	2003 年	9.2 × 12.5 × 12.0	陶器
114	森勝資	彩瓷草文扁壺	1991 年	41.7 × 55.0 × 25.6	陶器
115	市野雅彦	開	1995 年	31.5 × 76.8 × 37.3	陶器

第二部	丸沼芸術の森の作家たち	【ギャラリーⅡ】			
116	榎本洋二	葡萄文大皿	1991 年	11.0 × 57.5 × 58.0	陶器
117	榎本洋二	柿文壺	1994 年	36.9 × 38.4 × 38.2	陶器
118	波多野泉	Animalism (lion-tailed macaque2)	1997 年	21.0 × 23.0 × 24.0 (台座含む)	乾漆、ガラス

119	波多野泉	滅びゆく者たちへ - Animalism (Mandril3)	1997 年	37.0 × 42.5 × 33.0 (台座含む)	乾漆、ガラス
120	波多野泉	I met him (望郷)	2007 年	70.0 × 80.0 × 80.0	木、漆、ガラス
121	村上隆	カメレオン	1986 年	40.0 × 40.0	紙本着色
122	村上隆	カラーズ	1991 年	65.0 × 50.0	紙本着色
123	村上隆	カラーズ	1991 年	65.0 × 49.8	紙本着色
124	村上隆	カラーズ	1991 年	53.2 × 45.8	紙本着色
125	村上隆	カラーズ	1991 年	52.9 × 45.5	紙本着色
126	村上隆	カラーズ	1991 年	51.4 × 36.5	紙本着色
127	村上隆	カラーズ	1991 年	51.5 × 36.5	紙本着色
128	村上隆	Kaikai Kiki News	2001 年	50.0 × 50.0	プリント オフセット印刷、紙
129	村上隆	66 星人の夏休み	2004 年	47.2 × 47.0 (マット寸法)	プリント シルクスクリーン、紙
130	村上隆	And then, and then and then and then and then/Abstrakes Bild	2006 年	50.0 × 50.0 (紙寸法)	プリント オフセット印刷、紙
131	村上隆	And then, and then and then and then and then	2006 年	50.0 × 50.0 (紙寸法)	プリント オフセット印刷、紙
132	村上隆	And then, and then and then and then and then	2006 年	50.0 × 50.0 (紙寸法)	プリント オフセット印刷、紙
133	村上隆	腕、足がもげ、血噴き出すも、己、心の平安こそ、代え難き物也	2007 年	69.8 × 82.6	プリント オフセット印刷、紙
134	村上隆	目を見開けど実景は見えず。ただ、己、心、凝視するばかり也	2007 年	69.6 × 80.8	プリント オフセット印刷、紙
135	大橋博	rabbit	2011 年	30.0 × 16.0 × 20.0	木、漆、顔料
136	大橋博	Flower Garden # 1	2015 年	65.0 × 25.0 × 25.0	木曾檜、漆、顔料、布
137	大橋博	フニャ子 4 号	2019 年	65.0 × 24.0 × 20.0	木曾檜、漆、顔料、布
138	入江明日香	浜昼顔	2008 年	91.0 × 116.8	パネル ミクストメディア
139	入江明日香	山茶花	2008 年	145.5 × 145.7	パネル ミクストメディア
140	入江明日香	衣笠草	2012 年	140.1 × 70.0	パネル ミクストメディア
141	入江明日香	黒姫紫陽花	2012 年	140.2 × 70.0	パネル ミクストメディア
142	入江明日香	増長天	2016 年	160.0 × 100.0	パネル ミクストメディア
143	入江明日香	廣目天	2016 年	160.0 × 100.0	パネル ミクストメディア
144	入江明日香	持国天	2016 年	160.0 × 100.0	パネル ミクストメディア
145	入江明日香	多聞天	2016 年	160.0 × 100.0	パネル ミクストメディア
146	入江明日香	江戸薄墨大桜	2016 年	158.0 × 516.0	六曲一隻屏風 ミクストメディア
147	青木美歌	Vessel of genetic code'4	2016 年	15.0 × 18.0 × 18.0	ガラス
148	青木美歌	Fluid'2 Fluid'5	2016 年	11.5 × 18.7 × 14.0、 13.5 × 15.3 × 14.5	ガラス
149	青木美歌	Mutation	2017 年	33.0 × 9.0 × 10.0	ガラス
150	青木美歌	haglasteinn 2019	2019 年	25.0 × 26.0 × 15.0	ガラス
151	河明求	たまに奇跡は起こる	2016 年	32.0 × 17.0 × 12.5	陶、漆、白金、プラスチック
152	河明求	My favorite food is a bad politician	2016 年	32.0 × 17.0 × 17.0	陶、白金、漆、木材、鉄、プラスチック
153	河明求	Message hidden in humor	2017 年	25.0 × 17.0 × 20.0	陶、漆、顔料、白金、プラスチック
154	河明求	Who gave you magic seed for creation?	2019 年	15.0 × 15.0 × 18.0 (6 体) 15.0 × 15.0 × 20.0 (1 体)	陶器、金、漆、真珠
参考	直枝康介	オルソン・ハウス模型			

○
○

コレクション展

北欧の陶芸

Scandinavian Ceramics

コレクション・ハイライト

Collection Highlights

「国際陶磁器フェスティバル美濃」グランプリ作品展

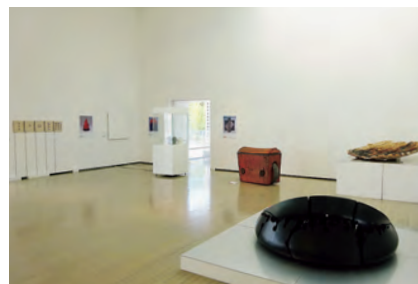
Grand Prix Works of “International Ceramics Festival Mino, Japan”

会 期：2020年5月19日（火）～9月6日（日）

観覧料：一般340円（280円） 大学生220円（160円） 高校生以下無料

主 催：岐阜県現代陶芸美術館

会 場：ギャラリーⅡ



展示室 A

北欧の陶芸

■内容

「ルート・ブリュック 蝶の軌跡」展と同時開催される本展では、デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、フィンランドにおける陶芸および陶磁器デザインの歩みを概観しました。

北欧諸国は歴史的にも地理的にも相互に強い影響関係にあり、陶芸発展の変遷は様々です。早くから王立窯を有し、19世紀末には個人作家が誕生したデンマーク。製陶所を拠点に個人作家が活躍することで、質の高い日用品を生み出したスウェーデン。後発ながら、20世紀半ばには個性的な作家を数多く輩出したノルウェー。製陶所が個人作家の活動を庇護したことで、芸術品と日用品双方において高い評価を得たフィンランド。19世紀末および20世紀半ばに世界を席卷した「北欧の陶芸」を当館所蔵作品より紹介しました。

展示室 B

コレクション・ハイライト

■内容

当館は、美濃焼の産地として長い歴史をもつこの地に、2002年10月開館しました。以来、「陶芸の現代」をテーマに国内外の19世紀末以降の近現代の作品を収集しています。コレクションは、①「個人作家の陶芸作品」、②実生活のなかで用いるためのものとして、作家が手作りで廉価に少量生産する器（「実用陶磁器」）、③アール・ヌーヴォーやバウハウスなどのモダンデザインの系譜に連なるものや世界の名窯など、量産を想定しながらデザイン性や芸術性を追求する「産業陶磁器」の3本の柱にそって収集を続けています。この展示室では、このような当館のコレクションの特徴を示す代表的な作品を紹介しました。

展示室 C・D

「国際陶磁器フェスティバル美濃」グランプリ作品展 *第12回「国際陶磁器フェスティバル美濃」協賛事業

■内容

世界でも有数の陶磁器産地として知られる岐阜県東濃地方では、1986年から3年に1度、「国際陶磁器フェスティバル美濃」が開催されています。そのメインの催しであるコンペティション「国際陶磁器展美濃」には、現代の創意あふれる陶磁器作品が国内外から集まります。当館ではその中から、グランプリや金賞を受賞した作品など、優れた作品を収蔵してきました。「国際陶磁器フェスティバル美濃」の第12回を前に、当館コレクションから、これまでのグランプリ作品を一堂に展示し、陶磁器の未来を提案してきた International Ceramics Festival Mino の成果を紹介しました。

■雑誌・新聞関連記事〈抜粋〉

【雑誌】

陶説（日本陶磁協会）6月号

展覧会情報

2020年 6月 1日

【新聞】

岐阜新聞 朝刊（東濃地域）

作品解説・守屋学芸員

2020年 6月30日

岐阜新聞 朝刊（東濃地域）

作品解説・林学芸員

2020年 7月14日

岐阜新聞 朝刊（東濃地域）

展覧会紹介・箕浦由美子

2020年 8月27日

■出品リスト

※◎は国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会からの寄贈

北欧の陶芸 [A 室]

No.	窯名・作家名	開窯年、生没年／国	作品名	制作年	寄贈
1	ルース・ブリュック	1916-1999 年 / フィンランド	“アッシュ・トレイ”	1960 年	
●デンマーク					
2	ロイヤル コペンハーゲン アーノルド・クロー	1775 年-1856-1931 年	マーガレット・サーヴィス	1899-1922 年 デザイン：1899 年	
3	ピング オー グレンデル ビエトロ・クローン	1853-1987 年 1840-1905 年	鷺のサーヴィス	1915 年 デザイン：1888 年	
4	ボディル・マンツ	1943 年-	Growing Weather	2016 年	◎
●スウェーデン					
5	スティグ・リンドベリ	1916-1982 年	ティーボット	1960 年	
6	スティグ・リンドベリ	1916-1982 年	小皿	1957 年	
7	スティグ・リンドベリ	1916-1982 年	花瓶	1960 年	
8	シーグネ・パーション＝メリーネ	1925 年-	ミルク入れ	1954 年	
9	シーグネ・パーション＝メリーネ	1925 年-	鉢	1954 年	
10	シーグネ・パーション＝メリーネ	1925 年-	花瓶	1954 年	
●ノルウェー					
11	アルネ・オーセ	1940 年-	白い器	1998 年	
●フィンランド					
12	アラビア カーリナ・アホ	1873 年- 1925-1990 年	マヌカナ	1954-1960 年 デザイン：1954 年	
13	アラビア カイ・フランク	1873 年- 1911-1989 年	ロケロパティ (KF-1)	1958-1962 年 デザイン：1957 年	
14	ビルゲル・カイピアイネン	1915-1988 年	飾皿 (人物)	1944 年頃	
15	ビルゲル・カイピアイネン	1915-1988 年	飾皿 (果実)	1960 年代- 1970 年代	
16	アラビア ビルゲル・カイピアイネン	1873 年- 1915-1988 年	バラティッシ	1969-1973 年, 1988 年, 2000 年- デザイン：1969 年	
17	アラビア カティ・トゥオミネン＝ ニーイトゥラ	1873 年- 1947 年-	プロトタイプ ストーリーボード	1984 年	
18	アラビア カティ・トゥオミネン＝ ニーイトゥラ	1873 年- 1947 年-	ピッチャー ストーリーボード	1993-1998 年 デザイン：1993 年	

コレクション・ハイライト [展示室 B]

No.	作家名	生没年／出身地	作品名	制作年
1	富本憲吉	1886-1963 年 / 奈良県	色絵金銀彩四弁花模様飾壺	1960 年
2	加藤卓男	1917-2005 年 / 岐阜県	藍彩四方花器	1993 年
3	金重陶陽	1896-1967 年 / 岡山県	砧形花入	1956-57 年
4	河井寛次郎	1890-1966 年 / 京都府	三色扁壺	1963 年
5	バーナード・リーチ	1887-1979 年 / 香港	蓋物	1950-60 年代
6	カール・シャイト	1929 年- / ドイツ	オープン・ヴェッセル・フォーム	2000 年
7	松田百合子	1943 年- / 京都府	西瓜花瓶 (フリーダ・カロへのオマージュ シリーズ) 西瓜花瓶 (フリーダ・カロへのオマージュ シリーズ) 瓢箪花瓶／瓢箪花生	1996 年／ 1996 年／ 1997 年／ 1998 年
8	ルーシー・リー ハンスコパー	1902-1995 年 / オーストリア 1920-1981 年 / ドイツ	ティー・サーヴィス	1950 年代
9	深川製磁	1894 年- / 佐賀県	釉下彩上絵陽刻紫陽花図大花瓶	明治時代後期
10	森正洋 白山陶器株式会社	1927-2005 年 / 佐賀県 1958 年- / 長崎県	G 型しょうゆさし	デザイン：1958 年
11	ローゼンブルフ	1883-1917 年 / オランダ	花器	1900 年

「国際陶磁器フェスティバル美濃」グランプリ作品展 [展示室 C・D]

No.	作家名	生没年／国	作品名	制作年	受賞、備考	寄贈
※	シャンタル・タルボット	1958 年- / ベルギー	焼けたトライアングル (B)	1986 年	第 1 回 陶芸部門 グランプリ	◎
1	小松 誠	1943 年- / 日本	POTS	1986 年	第 1 回 デザイン部門 グランプリ	◎
2	ブルース・S・テイラー	1958 年- / カナダ	無題 (二つの車輪)	1989 年	第 2 回 陶芸部門 グランプリ	◎
※	ジャック・シュレス	1934 年- / カナダ	ファイヤ・ライト	1989 年	第 2 回 デザイン部門 グランプリ	◎
3	クラウド・カサノヴァス	1956 年- / スペイン	収穫の日	1992 年	第 3 回 陶芸部門 グランプリ	◎
4	川村 秀樹	1949 年- / 日本	インテリア タイル	1992 年	第 3 回 デザイン部門 グランプリ	◎
5	伊村 俊見	1961 年- / 日本	虚・Ⅳ	1995 年	第 4 回 陶芸部門 グランプリ	◎
※	スヴェン・アドルフ	生年等不詳 / アメリカ	フォーカス 一空気ヒーター	1995 年	第 4 回 デザイン部門 グランプリ	
6	長江 重和	1953 年- / 日本	釉彩薄層のかたち (半球・1)	1998 年	第 5 回 陶芸部門 グランプリ	◎
7	カティ・トゥオミネン＝ ニーイトゥラ	1947 年- / フィンランド	皿「白い月」	1998 年	第 5 回 デザイン部門 グランプリ	◎
8	西田 潤	1977-2005 年 / 日本	絶	2002 年	第 6 回 陶芸部門 グランプリ	◎
9	崔 宰熙	1965 年- / 日本	ザ・ライト 一土と光のハーモニー	2002 年	第 6 回 デザイン部門 グランプリ	◎
10	吉川 周而	1947 年- / 日本	のめずりこむ	2005 年	第 7 回 陶芸部門 グランプリ	◎
11	井戸 真伸	1971 年- / 日本	hanahana	2005 年	第 7 回 デザイン部門 グランプリ	◎
※	徐 永旭	1955 年- / 台湾	2007-6	2008 年	第 8 回 陶芸部門 グランプリ	◎
12	太田 貢	1959 年- / 日本	Lights 光・波	2008 年	第 8 回 デザイン部門 グランプリ	◎
13	駒井 正人	1980 年- / 日本	茶器	2011 年	第 9 回 グランプリ	◎
14	五味 謙二	1978 年- / 日本	彩土器	2013 年	第 10 回 陶芸部門 グランプリ	◎
15	吉村 敏治	1973 年- / 日本	KOCHIKU	2014 年	第 10 回 デザイン部門 グランプリ	◎

※は写真パネル展示

コレクション展

やきもののデザイン：アイデアのありか

Design of Ceramics: Flows of Ideas

コレクション・ハイライト

Collection Highlights

新収蔵作品展－令和元年度収蔵品展－

New Collection Exhibition

会 期：2021年3月23日（火）～7月25日（日）

観覧料：一般340円 大学生220円 高校生以下無料

主 催：岐阜県現代陶芸美術館

会 場：ギャラリーⅡ



展示室 A

やきもののデザイン：アイデアのありか

■内容

本展示では、当館コレクションより戦後日本の実用陶磁器に焦点をあて、私たちの生活を支え彩るやきものの成り立ちを、デザインの視点から紹介しました。たとえば同じカップであっても、作り手の思いや技術、それを取り巻く環境によって、あらゆるかたちが生れます。「いつものかたち」を編み出すアイデアのありかを見つける楽しみを紹介しました。

展示室 B

コレクション・ハイライト

■内容

当館のコレクションの柱である①「個人作家の陶芸作品」、②実生活のなかで用いるためのものとして、作家が手作りで廉価に少量生産する器（「実用陶磁器」）、③アール・ヌーヴォーやバウハウスなどのモダンデザインの系譜に連なるものや世界の名窯など、量産を想定しながらデザイン性や芸術性を追求する「産業陶磁器」の3本の柱を代表的する作品を紹介しました。

展示室 C・D

新収蔵作品展－令和元年度収蔵品展－

■内容

2019（平成31/ 令和元）年度に当館が収集した作品（購入7点、寄贈7点）を紹介。

※本展出品リストは2021年度年報に収録。

収蔵作品点数 年度別一覧

2021年3月末現在

	購入	寄贈	合計	累計
1998年度	39	0	39	39
1999年度	54	4	58	97
2000年度	105	1	106	203
2001年度	174	11	185	388
2002年度	57	12	69	457
2003年度	17	98	115	572
2004年度	38	13	51	623
2005年度	14	42	56	679
2006年度	30	135	165	844
2007年度	125	29	154	998
2008年度	7	70	77	1075
2009年度	0	36	36	1111
2010年度	0	101	101	1212
2011年度	0	310	310	1522
2012年度	0	21	21	1543
2013年度	6	33	39	1582
2014年度	40	79	119	1701
2015年度	9	154	163	1864
2016年度	13	37	50	1914
2017年度	34	21	55	1969
2018年度	13	18	31	2000
2019年度	7	7	14	2014
2020年度	3	4	7	2021
収蔵 計	785	1236	2021	

収蔵作品貸出記録

作品名	作家名	貸出先	展覧会名	会場	会期
釉下彩菖蒲鯉図花瓶	加藤友太郎	兵庫陶芸美術館	神業ニッポン 明治のやきもの 幻の横浜焼・東京焼	横浜高島屋ギャラリー	2019.9.25-2019.10.7
釉下彩猫に蠟螂図花瓶	加藤友太郎	茨城県陶芸美術館		兵庫陶芸美術館	2019.10.12-2019.12.15
		滋賀県立陶芸の森 陶芸館		茨城県陶芸美術館	2020.5.12-2020.6.28
		神奈川新聞社		(岐阜県現代陶芸美術館)	(2020.9.5-2020.11.3)
				滋賀県立陶芸の森 陶芸館	2021.3.20-2021.6.6
ヘルマ	ニーノ・カルーン	京都国立近代美術館	記憶と空間の造形 ノ・カルーン イタリア現代陶芸の巨匠	二一 京都国立近代美術館	2020.1.4-2020.2.16
				(岐阜県現代陶芸美術館)	(2020.2.27-2020.4.3)
窈窕	三輪休和 (十代三輪休雪)	荒川豊蔵資料館	戦国期の茶陶	荒川豊蔵資料館	2020.6.12-2020.9.13
曲線彫文扁壺	加守田章二	益子陶芸美術館	英国ではじまり 濱田・リーチ 二つの道	益子陶芸美術館	2020.6.28-2020.11.8
浮彫蓮子白鷺翡翠図花瓶	宮川香山	山口県立秋美術館・浦上記念館	大集合！やきものどうぶつ園	山口県立秋美術館・浦上記念館	2020.7.4-2020.8.30
天馬横轉	鈴木治				
馬形	鈴木治				
十二支 戌	熊倉順吉				
十二支 亥	熊倉順吉				
十二支 丑	熊倉順吉				
茶器	駒井正人	国際陶磁器フェスティバル 美濃実行委員会	READY STEADY 陶フェス美濃 '21	セラミックパーク MINO	2020.10.10-2020.10.18
彩土器	五味謙二				
KOCHIKU	吉村敏治				
Hundred Rice Bowls	シータ・ウォン				
Topological Formation	加藤智也				
灰釉大鉢	加守田章二	益子陶芸美術館	加守田章二 天極さす	益子陶芸美術館	2021.3.7-2021.5.30
曲線文扁壺	加守田章二				
彩色角壺	加守田章二				
壺	加守田章二				

2020年度収蔵作品

No.	作家名	作品名	制作年	サイズ (h×w×d ,cm)	収蔵品番号	受入種別
1	石黒宗麿	軟釉鉢	1951年	6.4×35.5×35.5	R021001	購入
2	平井智	トスカーナ・晩秋	2004年	22.0×65.0×16.0	R021002	購入
3	大倉陶園	下村家旧蔵食器揃	1933年（珈琲揃は1930年、うちポット、クリーマー、シュガーは1929年）		R021003	購入
4	近藤豊	粉華花器	1981-1983年	17.5×18.5×19.0	R021004	寄贈
5	玉村登陽	萩茶盃	2003年頃	高さ9.0 口径15.3	R021005	寄贈
6	平井智	DONNA（女性）	2007年	45.0×12.0×12.0	R021006	寄贈
7	平井智	光彩	2007年	8.0×12.3×11.7	R021007	寄贈

2020年度収蔵図書

		一般図書	図録	雑誌（定期刊行物・年報等）	計
2020年度	寄贈	78	325	216	619
	購入	50	0	76	126

入館者数一覧

●2020年度入館者数

展覧会名	個人		団体		小中高	免除招待	計	開館日数
	大学	一般	大学	一般				
企画展	331	11,656	2	485	1,407	5,552	19,433	176
コレクション展	39	414	0	24	1517	8,287	10,281	216
特別展								
計	370	12,070	2	509	2,924	13,839	29,714	

●企画展別の入館者数

※（ ）は有料入館者数

展覧会	会期	入館者数
ルート・ブリュック 蝶の軌跡	2020.6.6～8.16	9,723人 (7,072人)
神業ニッポン 明治のやきもの 幻の横浜焼・東京焼	2020.9.5～11.3	3,500人 (1,676人)
大地のこどもたち2020	2020.10.3～11.3	3,534人 *観覧無料
アンドリュー・ワイエスと丸沼芸術の森コレクション展	2021.1.5～3.14	6,163人 (3,725人)

教育・普及活動

1 講演会・対談・演奏会

■講演会「幻の横浜焼・東京焼ーその魅力に迫るー」

講 師：荒川正明（学習院大学教授）
日 時：2020年9月13日（日）14:00～15:00
会 事：セラミックパーク MINO イベントホール
参加者：45名

■大地のこどもたち2020記念講演会「陶芸×教育」の可能性

講 師：原山健一（陶芸家、奈良教育大学准教授）
日 時：2020年10月3日（土）11:00～12:30
会 場：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム
参加者：23名

■特別ギャラリートーク

「神業ニッポン 明治のやきもの 幻の横浜焼・東京焼」
講 師：森谷美保（美術史家、実践女子大学・学習院大学非常勤講師、本展企画アドバイザー）
日 時：2020年10月11日（日）14:00～15:00
会 場：岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリー I
参加者：25名

■アンドリュー・ワイエスと丸沼芸術の森コレクション展 連続講座

「もっと知りたいワイエスの魅力1 ワイエスのふたつの世界ーペンシルベニアとメイン」
講 師：高橋秀治（当館館長）
日 時：2021年1月9日（土）14:00～15:30
会 場：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム
参加者：29名

■アンドリュー・ワイエスと丸沼芸術の森コレクション展 連続講座

「もっと知りたいワイエスの魅力2 ワイエスとオルソン家」
講 師：高橋秀治（当館館長）
日 時：2021年1月16日（土）14:00～15:30
会 場：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム
参加者：28名

■アンドリュー・ワイエスと丸沼芸術の森コレクション展 講演会

「丸沼芸術の森のあゆみー須崎代表に聞く」
講 師：須崎勝茂氏（丸沼芸術の森代表）
聞き手：高橋秀治（当館館長）
日 時：2021年2月27日（土）14:00～15:30
会 場：セラミックパーク MINO イベントホール
参加者：45名

■演奏会 清流の国ぎふ ミュージアムコンサート（岐阜県主催）

「野々田万照 JAZZ×MoMCA」
演 奏：野々田万照（サクソ奏者）ほか
日 時：2021年3月7日（日）14:00～15:00
参加者：87名

*「アンドリュー・ワイエスと丸沼芸術の森コレクション展」と連携

2 ワークショップ

■季節のワークショップ「大切な人のお茶碗をつくろう」

講 師：セラミックパーク MINO 作陶館スタッフ・当館教育普及担当
日 時：2020年9月20日（日）①10:30～12:00 ②14:00～15:30
会 場：セラミックパーク MINO 作陶館
参加者：12名



■「大地のこどもたち2020」展ワークショップ「Clay Session ーつながるやきもの」

講 師：原山健一（陶芸家、奈良教育大学教育学部准教授）
日 時：2020年10月10日（土）13:30～15:30
会 場：セラミックパーク MINO 作陶館
参加者：10名

■知る！ワークショップ「鑄込む＋型：かたちをつくる」〔金工編〕

講 師：田中祐江（鑄金作家）
日 時：2020年10月17日（土）①10:30～ ②14:00～
会 場：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム
参加者：12名

■季節の陶芸講座「心を温めるカフェオレ・ボウルをつくろう！ー手びねりで器をつくるー」

講 師：セラミックパーク MINO 作陶館スタッフ・当館教育普及担当
日 時：2021年1月30日（土）13:30～15:30
会 場：セラミックパーク MINO 作陶館
参加者：12名

■「アンドリュー・ワイエスと丸沼芸術の森コレクション展」実技講座

入江明日香の色彩銅版画にチャレンジ
講 師：入江明日香（出品作家、銅版画家）
日 時：2021年2月13日（土）13:00～16:00
会 場：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム
参加者：16名

※新型コロナウイルスに係る非常事態宣言発令のため中止

■知る！ワークショップ「鑄込む＋型：かたちをつくる」〔陶磁器編〕

講 師：山浦陽介（陶磁器作家）
日 時：2021年2月20日（土）、21日（日）13:00～16:00
会 場：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム
参加者：2月20日 5名 2月21日 5名



■「MoMCAの小さな図工室」

期日	内容	対象	参加人数
2020/10/31（土）	宮川香山さんに挑戦 折り紙で、高浮折花瓶をつくろう！	一般来館者	12
2021/ 2/27（土）	アンドリュー・ワイエスさんの技法に挑戦～ドライブラッシュ体験～	一般来館者	25
2021/ 3/28（日）	鑄込みの技術で、わたしだけの石膏タイルをつくろう！	一般来館者	21
		計	58

3 鑑賞会

■MoMCA やわらかアート・ツアー

期日	内容	対象	参加人数
2020/ 8/29（土）	コレクション展	一般来館者	1
2021/ 1/17（日）	「アンドリュー・ワイエスと丸沼芸術の森コレクション展」	一般来館者	3
2021/ 2/28（日）	「アンドリュー・ワイエスと丸沼芸術の森コレクション展」	一般来館者	1
		計	5

■先生と先生のたまごのための美術鑑賞会

期日	内容	対象	参加人数
2020/10/31（土）	「神楽ニッポン 明治のやきもの 幻の横浜焼・東京焼」展	申込者・一般来館者	13
2021/ 2/27（土）	「アンドリュー・ワイエスと丸沼芸術の森コレクション展」	申込者・一般来館者	11
		計	24

■団体鑑賞

期日	実施内容	活用団体・学校名等	参加人数
2020/10/23（金）	展示案内・作品鑑賞	下呂交流井戸端会議	31

4 ギャラリートーク・鑑賞ガイダンス

■学芸員による展示解説／鑑賞ガイダンス

2020年度の実施回数：6回

参加者合計：81名

5 館外事業（学校・教育委員会との連携 他館・社会教育施設との連携等）

■「学校美術館～MoMCAが学校にやってきた～」

当館所蔵作品を県内小中学校に展示し、児童・生徒及び地域みなさんに身近で鑑賞していただく「学校美術館」を開催した。2020年度は、対象校となった各務原市立緑苑小学校の学校行事「緑苑まつりゴーゴー GO!」と連携し、3点の作品の鑑賞を行った。

開催日：2020年11月2日（月）

会場：各務原市立緑苑小学校 2階 多目的教室

対象：各務原市立緑苑小学校児童及び職員、地域関係者

参加者：291名

展示作品：マウロ・タムピエリ《海のかなたからの光》2003年

ハリー・パスケス《隠れ家》2008年

川端健太郎《バチスタ》2010年

■教員研修会

新型コロナウイルス感染症の影響で、全て中止となった。

■職場体験学習・インターンシップ

新型コロナウイルス感染症の影響で、全て中止となった。

■授業づくりの相談・実践相談・指導助言

期日	実施内容	活用団体	参加者数
2020/ 6/26（金）	小6粘土表現の授業相談	多治見市立共栄小学校	2
2020/ 7/ 2（木）	小3粘土表現の授業相談	多治見市立滝呂小学校	3
2020/ 7/ 2（木）	小5粘土表現の授業相談	多治見市立滝呂小学校	3
2020/ 7/ 8（水）	小6・小2粘土表現の授業相談	多治見市立小泉小学校	8
2020/ 8/25（火）	小3社会科「多治見市とやきもの産業」	多治見市立根本小学校	3
2020/ 9/ 9（水）	小6社会見学での体験内容の検討	中津川市立高山小学校・下野小学校	3
2020/10/ 8（木）	中1総合学習「多治見とやきもの」	多治見市立南ヶ丘中学校	4
2020/10/22（木）	図画工作の授業づくりの相談	多治見市立脇之島小学校	3
2020/10/23（金）	図画工作の授業づくりの相談	多治見市立脇之島小学校	3
2020/10/28（水）	瑞浪市美術展 幼・保の部 指導・助言	瑞浪市教育委員会	12
2020/10/30（金）	東濃地区図画工作美術教育推進協議会 幼保の部 指導・助言	東濃地区図画工作美術教育推進協議会	12
2020/11/12（木）	小3粘土表現「こま犬をつくろう！」	御嵩町立御嵩小学校	4
2020/11/19（木）	小5鑑賞学習「好きな作品はどれ？ どうしてそれが好きなの？」	多治見市立精華小学校図画工作部会	3
2021/ 1/26（火）	ガス窯の扱い方の相談	多治見市立脇之島小学校	2
年間合計			64

■出張授業

期日	実施内容	活用団体	参加者数
2020/ 7/ 7（火）	粘土表現「新発見水族館をつくろう！」	多治見市立滝呂小学校3年1組	34
2020/ 7/ 9（木）	粘土表現「新発見水族館をつくろう！」	多治見市立滝呂小学校3年2組	36
2020/ 7/10（金）	粘土表現「新発見水族館をつくろう！」	多治見市立滝呂小学校3年3組	34

2020/ 7/ 7 (火)	粘土表現「新発見水族館をつくろう！」	多治見市立滝呂小学校3年1組	34
2020/ 7/ 9 (木)	粘土表現「新発見水族館をつくろう！」	多治見市立滝呂小学校3年2組	36
2020/ 7/10 (金)	粘土表現「新発見水族館をつくろう！」	多治見市立滝呂小学校3年3組	34
2020/ 7/13 (月)	粘土表現「滝呂タワーをつくろう！前半」	多治見市立滝呂小学校5年1組	36
2020/ 7/14 (火)	粘土表現「滝呂タワーをつくろう！後半」	多治見市立滝呂小学校5年1組	36
2020/ 7/15 (水)	粘土表現「滝呂タワーをつくろう！前半」	多治見市立滝呂小学校5年2組	35
2020/ 7/16 (木)	粘土表現「滝呂タワーをつくろう！後半」	多治見市立滝呂小学校5年2組	35
2020/ 7/20 (月)	粘土表現「滝呂タワーをつくろう！前半」	多治見市立滝呂小学校5年3組	36
2020/ 7/21 (火)	粘土表現「滝呂タワーをつくろう！後半」	多治見市立滝呂小学校5年3組	36
2020/ 7/28 (火)	粘土表現「小泉令和土器をつくろう！」	多治見市立小泉小学校6年生	67
2020/ 7/29 (水)	粘土表現「小泉令和土器をつくろう！」	多治見市立小泉小学校6年生	68
2020/ 7/30 (木)	粘土表現「滝呂タワーをつくろう！前半」	多治見市立滝呂小学校特別支援学級	3
2020/ 7/31 (金)	粘土表現「滝呂タワーをつくろう！後半」	多治見市立滝呂小学校特別支援学級	3
2020/ 8/ 4 (火)	造形遊び「いろいろなスティックで遊ぼう！」	多治見市立小泉小学校2年3組・4組	64
2020/ 8/ 5 (水)	造形遊び「いろいろなスティックで遊ぼう！」	多治見市立小泉小学校2年1組・2組	63
2020/ 8/20 (木)	粘土表現「きょうりゅうワールドをつくろう！」	瑞浪市立瑞浪小学校1年青組	31
2020/ 8/21 (金)	粘土表現「きょうりゅうワールドをつくろう！」	瑞浪市立瑞浪小学校1年黄組	31
2020/ 8/24 (月)	粘土表現「きょうりゅうワールドをつくろう！」	瑞浪市立瑞浪小学校1年赤組	31
2020/ 8/25 (火)	粘土表現「きょうりゅうワールドをつくろう！」	瑞浪市立瑞浪小学校1年白組	31
2020/ 9/ 1 (火)	粘土表現「ランプシェードをつくろう！」	多治見市立共栄小学校6年1組	34
2020/ 9/ 2 (水)	粘土表現「ランプシェードをつくろう！」	多治見市立共栄小学校6年2組	34
2020/10/ 7 (水)	社会科「多治見とやきもの・土からやきものができるまで」	多治見市立根本小学校3年生	27
2020/10/ 8 (木)	社会科「多治見とやきもの・土からやきものができるまで」	多治見市立根本小学校3年生	55
2020/10/16 (金)	総合学習「やきものの技法に触れよう上給付体験」	多治見市立根本小学校3年生	82
2020/10/23 (金)	総合学習「多治見とやきもの」講話	多治見市立南ヶ丘中学校1年生	97
2020/11/ 4 (火)	総合学習「やきものの技法に触れよう上給付体験」	多治見市立北栄小学校3年1組	27
2020/11/ 5 (水)	総合学習「やきものの技法に触れよう上給付体験」	多治見市立北栄小学校3年2組	27
2020/11/ 6 (木)	総合学習「やきものの技法に触れよう上給付体験」	多治見市立北栄小学校3年3組	26
2020/11/ 9 (月)	粘土表現「わたしのこま犬をつくろう！」	多治見市立脇之島小学校4年生	38
2020/11/10 (火)	粘土表現「新発見水族館をつくろう！」	多治見市立脇之島小学校2年生	32
2020/11/12 (木)	粘土表現「令和土器をつくろう！」	多治見市立脇之島小学校6年生	35
2020/11/13 (金)	社会科「多治見とやきもの・土からやきものができるまで」	多治見市立滝呂小学校3年生	108
2020/11/16 (月)	粘土表現「新発見水族館をつくろう！」	多治見市立小泉小学校2年1組	28
2020/11/17 (火)	粘土表現「新発見水族館をつくろう！」	多治見市立小泉小学校2年2組	28
2020/11/18 (水)	粘土表現「新発見水族館をつくろう！」	多治見市立小泉小学校2年3組・4組	56
2020/11/19 (木)	粘土表現「令和土器をつくろう！」	多治見市立小泉小学校特別支援学級	3
2020/11/20 (金)	粘土表現「わたしのこま犬をつくろう！」	御嵩町立御嵩小学校3年1組	27
2020/11/24 (火)	版画表現「楽しく遊ぶわたし」	多治見市立脇之島小学校3年生	37
2020/11/25 (水)	粘土表現「わたしのこま犬をつくろう！」	御嵩町立御嵩小学校3年2組	27
2020/11/27 (金)	粘土表現「わたしのこま犬をつくろう！」	御嵩町立御嵩小学校3年3組	27
2020/12/ 1 (火)	粘土表現「きょうりゅうワールドをつくろう！」	多治見市立小泉小学校1年1組	33
2020/12/ 2 (水)	粘土表現「きょうりゅうワールドをつくろう！」	多治見市立小泉小学校1年2組	33
2020/12/ 3 (木)	粘土表現「きょうりゅうワールドをつくろう！」	多治見市立小泉小学校1年3組	33
2020/12/ 4 (金)	粘土表現「きょうりゅうワールドをつくろう！」	多治見市立小泉小学校1年4組	33
2020/12/ 8 (火)	絵画表現「お話の絵『とらとおじいさん』をもとにかこう！」	多治見市立滝呂小学校3年1組・2組	72
2020/12/ 9 (水)	絵画表現「お話の絵『とらとおじいさん』をもとにかこう！」	多治見市立滝呂小学校3年3組	36
2020/12/10 (木)	粘土表現「新発見水族館をつくろう！」	多治見市立昭和小学校2年生	50

2020/12/11 (金)	粘土表現「わたしのおもいで わたしのともだち」	多治見市立脇之島小学校 1 年生	25
2020/12/15 (火)	粘土表現「私を変える、変身お面をつくろう！」	多治見市立昭和小学校 3 年生	52
2020/12/18 (金)	版画表現「彫りすすみ多色木版画に挑戦」	多治見市立脇之島小学校 5 年生	35
2020/12/23 (水)	粘土表現「立ち上がれ！ねんど！！」	多治見市立昭和小学校 4 年生	52
2021/ 1/14 (木)	粘土表現「きょうりゅうワールドをつくろう！」	多治見市立共栄小学校 1 年 1 組	23
2021/ 1/15 (金)	粘土表現「きょうりゅうワールドをつくろう！」	多治見市立共栄小学校 1 年 2 組	23
2021/ 1/21 (木)	粘土表現「新発見水族館をつくろう！」	多治見市立共栄小学校 2 年 1 組	23
2021/ 1/22 (金)	粘土表現「新発見水族館をつくろう！」	多治見市立共栄小学校 2 年 2 組	23
2021/ 1/28 (木)	粘土表現「私のこころの形」	多治見市立共栄小学校 5 年 1 組	36
2021/ 1/29 (金)	粘土表現「私のこころの形」	多治見市立共栄小学校 5 年 2 組	37
2021/ 2/ 2 (火)	粘土表現「半立体の生き物・新発見水族館」	多治見市立小泉小学校特別支援学級	3
2021/ 2/12 (金)	鑑賞学習「わたしの作品の話をきいて！」	瑞浪市立陶小学校 4 年生	15
2021/ 2/12 (金)	鑑賞学習「わたしの作品の話をきいて！」	瑞浪市立陶小学校 5 年生	13
2021/ 2/12 (金)	鑑賞学習「わたしの作品の話をきいて！」	瑞浪市立陶小学校 6 年生	19
年間合計			2234

6 博物館実習

ねらい

- ・学芸員資格取得を目指す学生に対して、実体験や実技を通して、学芸員として必要とされる知識・技術等の基礎・基本を習得する。
- ・館での実務実習等を通じて美術館の仕事や役割に関する理解を深める。
- ・大学内での実習で学んだ内容を美術館の現場で実際に経験することで、美術館の理念や設置目的、業務の流れ等に対する理解を深めると同時に、収蔵作品や資料の取り扱いや教育普及活動、来館者対応等の実務の一端を担うことにより、学芸員としての責任感や社会意識を身に付け、美術館で働く心構えを涵養する。

実施内容

- ・美術館の役割
- ・展示室等の施設と機能
- ・作品の収集
- ・作品の保存・管理
- ・作品情報の管理
- ・展覧会の企画・準備
- ・教育普及活動
- ・資料の管理・整理
- ・陶芸作品の取扱実習 等

実施期間：2020年8月7日（金）～8月13日（木）

実習参加大学

- ・中部大学京
- ・金沢美術工芸大学
- ・八洲学園大学（3校 5名）

7 展覧会「大地のこどもたち2020」展の開催

【展覧会概要】

- ・主 催 岐阜県現代陶芸美術館、大地のこどもたち2020展開催委員会
- ・後 援 岐阜県教育委員会、多治見市教育委員会、土岐市教育委員会、瑞浪市教育委員会、恵那市教育委員会、中津川市教育委員会
- ・助 成 公益財団法人 田口福寿会
- ・協 賛 国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会
- ・展覧会開催期間

2020年10月3日（土）～11月3日（火） 27日間

休館日 10月5日（月）、12日（月）、19日（月）、26日（月）、11月2日（月）

- ・会 場 岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリーⅡ

- ・出品内容 全作品数:826点（871名参加）

個人作品:819点（819名参加）

共同作品:7点（52名参加）

参加校:51校（岐阜県内）特別参加校:1校（奈良教育大学附属中学校19名）

展覧会会期中の参観者数:3534名

8 ボランティアの活動

■登録者数：10名（2021.3.31現在）

■活動内容：展示ガイド（子ども対象）、図書登録作業、印刷物発送作業、ワークショップ等の補助、
展覧会・当館（施設含む）・陶芸に関する研修

9 友の会との連携

■「ルート・ブリュック 蝶の軌跡」展 特別鑑賞会

*新型コロナウイルス感染症の影響により中止

■「神業ニッポン 明治のやきもの 幻の横浜焼・東京焼」展 特別鑑賞会

日時：2020年9月6日（日）

参加者：1人

■「アンドリュー・ワイエスと丸沼芸術の森コレクション展」展 特別鑑賞会

日時：2021年1月9日（土）

参加者：14人

10 教育普及関連印刷物



MoMCA チラシ (2020 夏・秋)



MoMCA チラシ (2020-2021)

収蔵庫整備

2020（令和2）年11月4日～2021（令和3）年1月4日の期間、休館し、その間の12月1日～3日に収蔵庫Aの整備を行った。

1 経緯と目的

開館から18年が経過し、収蔵作品が増加して、収蔵庫におけるその収納・管理に支障をきたしていた。中でもメインの収蔵庫Aにおいて所蔵作品の収納スペースが不足し、特に大型作品と中型作品の収納スペースは満杯に近くなっていた。そのため、収蔵庫A内を整備し、収納スペースを拡張して、収納方法の改善を図った。

2 整備計画の作成

2019（令和元）年度に、「収蔵庫A整備計画」を作成した。

2019（令和元）年7月23日、プロポーザル方式により受託業者を決定。受託業者は株式会社クマヒラ岐阜営業所。9月30日、整備計画が提出された。

整備計画の主な内容は、収蔵庫Aの入口から中間部までの領域（作品床置部分と棚部分）を整備対象とし、その中の既設の収蔵棚20台を撤去し、作品収納機能を向上させた新設の収蔵棚22台を設置するというものである。

整備計画に基づき、次年度当初予算要求に際して収蔵庫整備費を要求し、その予算が認められた。

3 整備の実施

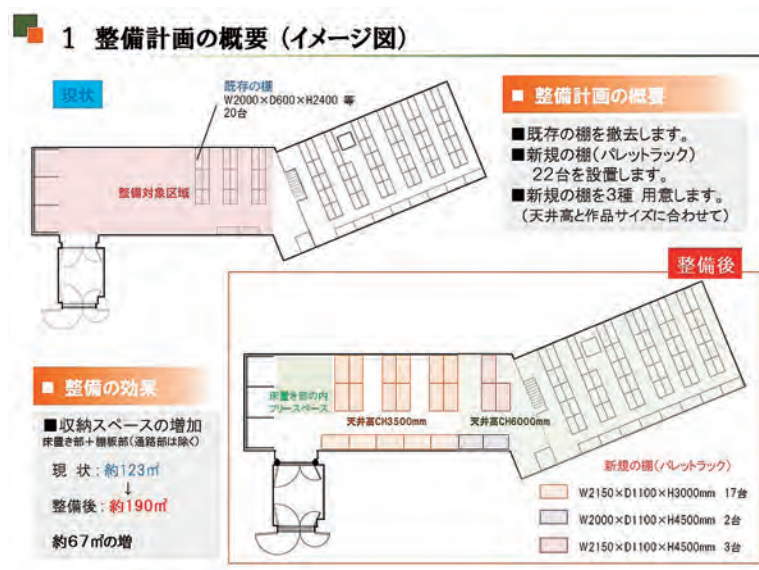
2020年10月7日、入札により「収蔵庫A整備業務委託」の受託業者を決定。受託業者は株式会社クマヒラ岐阜営業所。

以降、「収蔵庫A整備計画」を修正、受託業者が新設の収蔵棚を作成。12月1日～3日、受託業者が整備対象領域において既設の収蔵棚を撤去、新設の収蔵棚を設置。

新設の収蔵棚の仕様の概要は次のとおり。

- ・ スチール製。粉体塗装、グレー色。
- ・ 天板あり、底板なし。棚板あり、有効3段～5段。
- ・ 側面にクリップ金網、棚板に落下防止ベルトを取付。
- ・ W 2,150×D 1,100×H 3,000mm、17台（内1台はWを縮小）
W 2,000×D 1,100×H 4,500mm、2台
W 2,150×D 1,100×H 4,500mm、2台
- ・ 高所作業用の移動式作業台を納品。

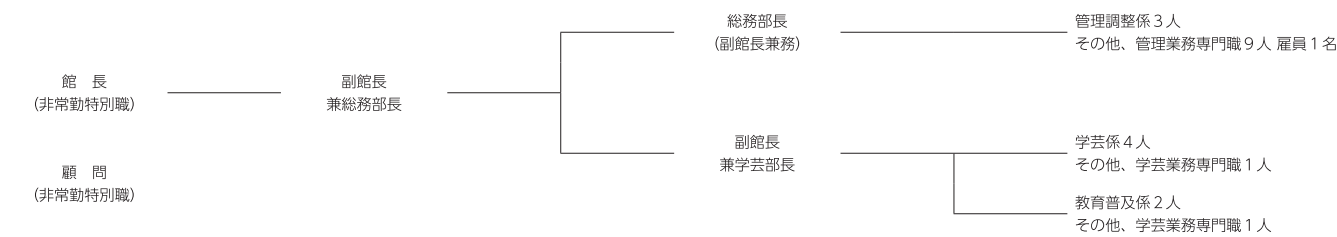
受託業者の整備作業に際して、休館期間内、整備作業前に、収蔵庫A整備対象領域にある作品群を館内の展示室に移動し、整備作業後に、その作品群を収蔵庫Aに収納した。



新設の収蔵棚

館の概要

組織及び構成



顧問	榎本徹
館長	高橋秀治
副館長兼総務部長	於久田秀孝
副館長兼総務部長	谷口輝己
総務部 管理調整係	係長 安田智子（～9月） 係長 市橋隆之（10月～） 主任 渡辺弘之 主事 中島和也 管理業務専門職 飯村和可奈 吉田可奈 三橋恵 松本侑子 石川朱理 前田絢子 大森由貴奈 渡邊敦子 佐近麻友子 第一種雇員 井口ゆき
学芸部 学芸係	課長補佐 岡田潔 主査 花井素子 主査 守屋靖裕 主任 山口敦子 学芸業務専門職 水野利香
教育普及係	課長補佐 佐々木和哉 主事 林いづみ 学芸業務専門職 野田三千代（10月～）

岐阜県現代陶芸美術館協議会委員

(2019年6月1日～2021年5月31日)

安藤貴久子	アンファッションカレッジ学校長
加藤委	陶芸作家
河口一	岐阜県陶磁器工業協同組合連合会理事長
佐倉一徳	NHK 岐阜放送局局長
長谷川潤子	陶芸作家
林恭助	(公社) 美濃陶芸協会会長
古川雅典	多治見市長
山田伝夫	中日新聞社岐阜支社長
高橋和子	公募 (FM 多治見パーソナリティ)
安藤雅子	三蔵興産株式会社代表取締役社長 (安藤積産合資会社代表社員)
神崎かず子	愛知県陶磁美術館副館長
田代久美子	(公財) 伊藤青少年育成奨学会常務理事
樋口正光	(公財) セラミックパーク美濃事務局長
間宮弘一	東濃地区図工美術教育研究協議会長 (瑞浪市立明世小学校学校長)
佐々木千裕	多治見市 PTA 連合会副会長兼家庭教育委員長

岐阜県現代陶芸美術館美術品等収集委員会委員

石崎泰之	山口県立萩美術館・浦上記念館副館長
伊藤嘉章	愛知県陶磁美術館総長、町田市立博物館館長
外館和子	多摩美術大学教授・美術評論家
橋本麻里	ライター・エディター、公益財団法人永青文庫副館長
矢橋龍宜	矢橋ホールディングス(株)代表取締役社長

活動方針

- ・陶芸の現代をテーマとして、国内外にこだわらず、世界各地の近現代の陶芸作品を収集し、さまざまな展覧会を開催する。
- ・陶磁器を通じた人的ネットワークの構築や、地域との連携なども視野に入れた活動も展開する。
- ・多様な体験や情報を通じて、楽しく陶芸に接することができる美術館活動を目指す。

活動内容

①収集活動

- ・陶芸の現代をテーマとして、収集対象を国内外、近現代（19世紀以降）に絞る。
- ・世界の個人作家の陶芸作品を収集する。
- ・これまでの美術館の収集対象となりにくかった、実用陶磁器などを再評価し、収集する。
- ・地域の窯業振興に資するという視点から、産業陶磁器（モダンデザインの系譜としての産業陶磁器や名窯などの陶磁器）も収集する。

②展示活動

- ・ギャラリーⅠでは企画展を、ギャラリーⅡにおいては収蔵品によるコレクション展を開催する。

③教育普及活動

- ・陶磁器文化に関して所蔵作品等の情報を来館者に提供するため、所蔵品作品カードの作成と配布、オリジナルソフトによる映像資料の公開などを行っている。平成24年度からはホームページで、所蔵品検索システムを運用している。
- ・ギャラリートーク、ワークショップなど、様々なプログラムを行っている。これによって、地域の学習意欲に応え、陶芸に関わる幅広い知識の普及を目指している。それと並行して、地域や学校との連携をはかって、出張事業や出前講座、そして2018年度（平成30年度）からは学校美術館を開催している。
- ・2015年度（平成27年度）から、陶芸を取り巻く芸術やデザインも含めた広い視点で、講演会、ワークショップなどを行う「魅力発信事業」も展開している。

施設概要

施設	名称	面積（㎡）	床材	壁材	天井高（mm）
	展示ホール	2,236.71	合成樹脂系塗装	打放し PC 板	9,000／4,500
	国際会議場	419.62	フローリング（ナラ）	ホワイトオーク	4,800
	イベントホール	167.73	タフテッドカーペット	ホワイトオーク	3,600
	小会議場	84.15	タフテッドカーペット	AEP 塗装	3,600
	作陶館	239.09	タイル	AEP 塗装	5,600
	茶室小間	12.01	畳	土壁	1,970
	茶室広間	32.8	畳	和紙貼り	2,700
	展示室 1	128.28	フローリング（ナラ）	AEP 塗装	4,100
	展示室 2	34.5	フローリング（ナラ）	透明ガラス	3,000
	展示室 3	76.73	フローリング（ナラ）	AEP 塗装	3,600
	展示室 4	34.56	フローリング（ナラ）	透明ガラス	3,000
	展示室 5	180	フローリング（ナラ）	AEP 塗装	4,100
	展示室 6	34.56	フローリング（ナラ）	透明ガラス	3,000
	展示室 7	83.27	フローリング（ナラ）	AEP 塗装	3,600
	展示室 8	34.56	フローリング（ナラ）	透明ガラス	3,000
	展示室 9	128.82	フローリング（ナラ）	AEP 塗装	4,100
	展示室10	25.92	フローリング（ナラ）	透明ガラス	3,000
	展示室11	115.83	フローリング（ナラ）	AEP 塗装	4,100
	展示室 A	142.58	フローリング（ナラ）	AEP 塗装	3,025／9,000／4,800
	展示室 B	109.55	フローリング（ナラ）	AEP 塗装	4,200
	展示室 C	66.82	フローリング（ナラ）	AEP 塗装	2,700
	展示室 D	122.43	フローリング（ナラ）	AEP 塗装	6,300／11,715
	収蔵庫 A	403.27	フローリング（ナラ）	AEP 塗装	3,600／6,000
	収蔵庫 B	96.94	フローリング（ナラ）	県内産杉板素地	3,000
建築	所在地	岐阜県多治見市東町 4 丁目 2 番地 5			
	設計監理	岐阜県基盤整備部公共建築課 株式会社磯崎新アトリエ・熊谷建築設計室 設計共同企業体			
	建築	東急・鴻池・岐建特定建設工事共同企業体			
	電気	松本・ミリオン特定建設工事共同企業体			
	機械	日比谷・安田・ダイワ特定工事共同企業体			
	総事業費	約130億円			
	敷地面積	173,132.55㎡			
	建築面積	7,954.65㎡			
	延べ床面積	14,459.23㎡			
	階数	本館棟 地上 3 階、地下 1 階 ロジア棟（茶室） 1 階 作陶館 1 階 展望台 2 階			
	構造	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨コンクリート造			
	工事期間	平成10年10月～平成14年 7 月			
	駐車場	一般	312台		
		大型バス	3 台		
		身障者優先駐車スペース	4 台		
設備	<電気設備>				
	電気受容契約	受電電圧	6.6KV		
	契約種別	業務用電力	500KW		
	深夜電力	氷蓄熱ヒートポンプチャラー	6KV200KW		
		深夜動力	210V75KVA		
	変圧器	1 Φ300KVA	3 台		
		1 Φ50KVA	1 台		
		3 Φ500KVA	2 台		
		3 Φ75KVA	1 台		
	進相用電力コンデンサー		6KV 424KVar 4 台		
	避雷器	8.4KV 2.5KA	3 台		
	非常用自家発電装置	3 Φ3W220V450KVA			
	直流電源装置	用途	非常照明		
		容量	300Ah（54セル）		
		出力電圧	108V		
		太陽光発電装置	1 Φ3W200/100V		
		設備容量 太陽電池	6.96KW 相当		
		インバーター	8.8KW 相当		
	<空調設備>				
	氷蓄熱ヒートポンプスクリーチャー				
	製氷能力		1100USRT×10h		
	暖房能力		410.46KW		
	吸収式冷温水機	冷凍能力	422KW		
		暖房能力	556KW		
	空調調和機	エアエンドリングユニット	28台		
		ファンコイルユニット	49台		
		送・排風機	117台		
		排煙設備	4 台		
		電気加湿器	35台		
	<衛生設備>				
	給水設備	受水槽	22.5t（2 槽）		
		加圧給水ポンプ	65A×500l/mim×45m×5.5KW		
		排水設備	公共下水道		

<消火設備>		
屋内消火ポンプ		150A×2200l/min×86m×55KW
消火水槽		25t
閉鎖型スプリンクラーヘッド		483個
予作動型スプリンクラーヘッド		649個
N2ボンベ		49本
消火器 (ABC 粉)		78本
<昇降機>		
EV1	油圧式	15人乗
EV2	油圧式	11人乗
EV3	油圧式	15人乗
EV4	油圧式	4人乗り
EV5	油圧式	荷物用 (3,300kg)
ES1		5.5KW×2
ES2		5.5KW×2
<防犯設備>		
ITV 監視装置 (モニターカメラ)		46台
防犯センサー (遠隔機械警備システム)		98台
<池循環濾過装置>		
池延面積		2,206.9㎡
カスケード循環ポンプ		80A×750l/min×25m×5.5KW
池循環ポンプ		40A×240l/min×25m×2.2KW
池循環濾過ポンプ		80A×1,200l/min×50m×15KW
<雨水再利用設備>		
雨水再利用屋根面積		2,800㎡
雑用水槽		158t
雨水濾過装置処理能力		4.5t/h

施設の利用

ア 観覧時間 午前10時から午後6時まで（ただし、入館は午後5時30分まで）

イ 休 館 日 月曜日（ただし、月曜日が休日の場合はその翌平日）
 年末年始（2020年12月28日～2021年1月4日）
 ※施設工事による休館（2020年11月16日～12月21日）

ウ 観覧料金 <コレクション展>
 一般340円 (280円)、大学生220円 (160円)、高校生以下無料、
 () は20名以上の団体の場合

<特別展>
 別に定める金額（特別展の観覧券でコレクション展も観覧できる）
 高校生以下無料

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費（指定難病）受給者証の交付を受けている方、
 およびその付き添いの方 (1名まで) 無料

岐阜県現代陶芸美術館 年報 第11号

2020

2022年3月発行

[編集・発行]

岐阜県現代陶芸美術館

岐阜県多治見市東町4-2-5

Annual Report Vol. 11 Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

2020

March, 2022

Edited and Published by

Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

4-2-5, Higashi-machi, Tajimi City, Gifu



岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

